

第5章

魅力・元気・文化を誇るまち

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
512	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	事業の目的達成に向けて、成果が始めているため。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			最優先	自治事務		214,354千円	212,708千円		①企業立地等奨励金の交付件数 ②工場等の立地相談対応件数 ③都市型産業等育成補助金の交付件数	企業立地等奨励金の交付件数		誘致対象事業者の新規立地を、年間1件以上あることを目標とし、交付件数を年度ごとに1件ずつ加算した。				埼玉県（企業立地課）との情報共有を図り、埼玉県においても、所沢市への企業誘致活動を共同で行っている。また、埼玉県企業立地セミナーin東京にて、小野塚市長より三ヶ島工業団地周辺地区に創出される産業団地のPRを行なった。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	所沢市企業立地支援条例、及び、同施行規則 所沢市都市型産業等育成補助金交付要綱		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
			事業の目的及び具体的な内容	205,460千円		205,310千円		R5目標										R5実績
				本市の立地環境を活かし、企業立地等奨励金や補助金により製造業や都市型産業等（情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等）の立地・拡大の推進及び育成を行い、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものである。		0.76 人	会年職員等	0人	実績	6件	6件	産業系用途の土地が少ないことから件数が伸び悩んでいるが、三ヶ島工業団地周辺地区の区画整理事業が進んできていることから今後件数の増加が見込まれる。						
						6,142千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①4件 ②13件 ③3件	R6目標	R6実績							
						0.74 人				会年職員等	0人		6件			4件		
			期間	0.74 人		会年職員等	0人											
			H24 ～	6,040千円														
513	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	創業支援事業の支援対象者数については、商工会議所や創業・ベンチャー支援センター埼玉で開催する開業セミナーや相談会に関しては参加者が増加したが、市役所窓口での相談件数が少なく、目標値を達成できなかった。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		1,350千円	1,350千円		①創業支援対象者数 ②創業者数	創業支援対象者数		産業競争力強化法に基づく本市の創業支援等事業計画による創業支援の対象者				創業支援等事業計画における特定創業支援等事業のメニューに、金融機関と連携した創業塾等を追加し、受講できる機会を増やした。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	産業競争力強化法		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
			事業の目的及び具体的な内容	1,350千円		1,350千円		R5目標										R5実績
				地域における創業者を支援し、地域の活性化、雇用の確保を図ることを目的として、開業セミナー、開業カフェ、専門家による無料個別相談会等、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画に沿って、商工会議所等と共に事業を展開するもの。		0.27 人	会年職員等	0人	実績	393人	284人	創業支援事業の支援対象者数については、商工会議所や創業・ベンチャー支援センター埼玉で開催する開業セミナーや相談会に関しては参加者が増加したが、市役所窓口での相談件数が少なく、目標値を達成できなかった。						
						2,182千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①274人 ②58人	R6目標	R6実績							
						0.22 人				会年職員等	0人		313人			274人		
			期間	0.22 人		会年職員等	0人											
			H12 ～	1,796千円														
514	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	きっかけづくり交流会においては、参加者数が年々減少傾向にあるが、川越市の農業者が2業者の参加があった。川越市産業振興課や農政課への働きかけもあり、今後の事交流会の活性化につなげていきたい。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			重要	自治事務		278千円	100千円		①きっかけづくり交流会参加団体数 ②きっかけづくり交流会新規参加団体数 ③農商工連携により創出された新事業数	農商工連携により創出された新事業数		支援事業に参加した事業者同士の連携により、実際に新商品や新サービスの創出につながった件数				商品写真の見せ方、SNSでの訴求方法を知り、売り上げにつながるPRの方法を見つけるための勉強会「Instagram商品写真ワークショップ」を開催し、10事業者が3名のアドバイザー（デザイナー、ライター、PRプランナー）から話を聴き、今後の事業展開について見識を深めた。	どのように貢献したか	
			根拠法令	所沢市産業振興ビジョン		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
			事業の目的及び具体的な内容	278千円		99千円		R5目標										R5実績
				農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のための勉強会」、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図るもの。		0.78 人	会年職員等	0.25人	実績	3件	5件	製品として完成し販売されたものは、1件であるが、開発中のものが多々あるため、引き続き今後も支援を続けていく必要がある。						
						6,303千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①30団体 ②8団体 ③1件	R6目標	R6実績							
						0.52 人				会年職員等	0.25人		3件			1件		
			期間	0.52 人		会年職員等	0.25人											
			H25 ～	4,244千円														
521	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	新規先訪問については4件の達成未達となったが、これまで訪問した事業者については、工業製品展示におけるPRの他、事業者の製品をふるさと納税返礼品として取り扱うなどの支援を行ったため。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		20千円	5千円		①新規先訪問件数 ②既存先支援件数(情報提供、イベント実施)	新規先訪問件数		地域産業を牽引する事業者への専門家の派遣、訪問の件数				令和6年11月にふるさと納税返礼品を再開したことから、訪問先事業者の製品をふるさと納税返礼品として取扱い支援した。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	所沢市産業振興ビジョン		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
			事業の目的及び具体的な内容	20千円		5千円		R5目標										R5実績
				所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等との連携、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域を牽引する地域産業牽引事業者等を発掘し、これらの事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行うもの。		0.39 人	会年職員等	0人	実績	5件	5件	訪問先の日程調整が上手くいかず4件の訪問となった。						
						3,152千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①4件 ②15件	R6目標	R6実績							
						0.36 人				会年職員等	0人		5件			4件		
			期間	0.36 人		会年職員等	0人											
			H31 ～	2,938千円														

78/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
521	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤 を作ろう		
			重要	自治事務		5,000千円	4,908千円	①補助金交付件数 (商工会議所取りまとめ分 は1件として扱う) ②補助金交付金額	補助金交付件数 (商工会議所取りまとめ分は1件として扱う) 事業の目的を達成するために、十分な周知を図り、一定以上の補助金交付件数を目指す。		R6目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			地域資源活用・ものづくり総合支援補助金交付要綱	6,000千円		6,000千円												
			地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績									
						0.53人	会年職員等	0人	実績	5件	9件							
						4,283千円	R6目標	R6実績										
			期間	市内の製造業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図るため、市内事業者が連携し、新商品やサービスの開発及び新たな販路の開拓等を行う際に、その経費の一部を補助するもの。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済										
						0.48人	会年職員等	0人	5件	6件								
H25 ～	3,918千円																	
521	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	返礼品提供の再開が年度途中であったにもかかわらず、リピート者を確保できたため。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤 を作ろう		
			-	自治事務		0千円	0千円	①寄附者数 ②寄附件数	寄附のリピート率 累計リピート数÷累計寄附件数 (令和6年度以降の累計) ふるさと応援寄附を通じて、所沢市の魅力を感じてもらい、関係人口を増やしていくことが目的であるため。		R6目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所得税法、地方税法	45,084千円		39,021千円												
			ふるさと応援寄附推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績									
						0.00人	会年職員等	0人	実績	0.0%	0.0%							
						0千円	R6目標	R6実績										
			期間	市外からのふるさと応援寄附があった際に返礼品を設けることにより、産業振興を推進し全国に向けて市の魅力を発信するとともに、財源の確保を図り、「ふるさと所沢」のまちづくりに資することを目的とする。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	返礼品提供の再開が年度途中で周知しきれなかったため。										
						0.07人	会年職員等	0人	①1,072人 ②1,154件	10.0%	7.1%							
R6 ～	571千円																	
522	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	市内の商工業振興において重要な役割を担う団体として引き続き補助を行う必要がある。なお、補助事業のあり方については、市と共同で実施し市が負担金を交付する事業と併せて方向性を検討する必要がある。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤 を作ろう		
			重要	自治事務		13,000千円	13,000千円	①経営改善普及事業の巡回窓口相談件数 ②経営改善普及事業の講習会等の開催による指導件数 ③個人・法人・団体の年度未会員数	商工会議所一般会計の事業費（千円） 事業計画に基づき事業が実施されているかを示す。目標は商工会議所一般会計の予算額、実績は決算額。		R6目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢商工会議所補助金交付要綱	13,000千円		13,000千円												
			所沢商工会議所補助金	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績									
						0.05人	会年職員等	0人	実績	206,420千円	144,268千円							
						404千円	R6目標	R6実績										
			期間	地域経済の振興と発展を目的に、所沢商工会議所に対して補助金の交付を行う。 (団体における実施事業) ○所沢商工会議所一般事業(部会活動、街おこし事業、情報提供事業、会員組織事業、検定事業等) ○中小企業相談所事業(中小企業経営指導、事業融資受付、講習会開催、人材育成事業等)		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	予算額に対する決算額であるため。会員支援のための諸事業は概ね計画どおり実施された。										
						0.05人	会年職員等	0人	①2,538件 ②1,604件 ③3,149者	235,215千円	175,049千円							
S25 ～	408千円																	
522	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	市中金利の上昇に伴い市融資制度利用者が増加し、目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤 を作ろう		
			重要	自治事務		5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。		R6目標値が未達成の理由・分析							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円		1,852千円												
			中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績									
						0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件							
						1,778千円	R6目標	R6実績										
			期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済										
						0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件								
S48 ～	1,143千円																	
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						重要	自治事務	5,000千円	1,673千円	①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額	融資制度新規利用件数 年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。					R6目標値が未達成の理由・分析		
						根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）										
						所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外	4,000千円	1,852千円										
中小企業融資事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績												
			0.22人	会年職員等	0.15人	実績	5件	3件										
			1,778千円	R6目標	R6実績													
期間	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	目標達成済													
			0.14人	会年職員等	0.15人	5件	9件											
			S48 ～	1,143千円														
522	産業 経済 部	産業 振興 課	中小企業融資事業	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠							

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)			
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標		評価理由		現状の課題	事業自体が貢献する項目					
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	参加農家数に減少が見られるものの、項目別に見ると、令和5年度に拡充した生分解性マルチフィルムの参加農家数は増加していて、事業見直しの効果が現れている。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
			重要	自治事務		5,162千円	3,411千円		①生分解性マルチフィルム購入農家数 ②緑肥購入農家数 ③フェロモン剤購入農家数	事業参加農家数	環境への負荷の少ない農業資材の利用を増やすことを当該事業の目的としているため、事業の参加農家数を指標とする。 目標値としては、前年度の実績を基本とし、維持・向上を目指す数値を設定する。					フェロモン剤利用推進事業において、これまでは誘引剤を用いたトラップ方式で参加する農家がほとんどであったが、農業者とのコミュニケーションを図り、新たに交信攪乱剤での防除に挑戦するなどの動きが見られた。	15 陸の豊かさを守ろう			
			根拠法令	所沢市環境にやさしい農業推進事業費補助金交付要綱		R6予算現額	R6決算額（見込み）													
			事業の目的及び具体的な内容	5,162千円		3,468千円		R5目標								R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析		
			環境にやさしい農業推進事業	生分解性マルチフィルム、緑肥、フェロモン剤の利用に対して、事業費の1/2以内を限度として補助をする。 地球環境への負荷を軽減するとともに、地域住民との共存を図り、安心して安全な農産物の生産を増やしていく。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績		事業参加農家数の減少は、フェロモン剤の参加農家を中心に生じており、これはフェロモントラップの設置が出荷組合単位による共同事業として広く実施されてきたが、組合員の高齢化等により事業として実施する組合が減少したことによるものと考えられる。 また、資材価格の高騰による購入数量調整も影響したものと考えられる。							
						0.55 人	会年職員等	0人		220戸	264戸									
						4,445千円		R6目標		R6実績		R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①122戸	270戸	222戸									
						期間	0.31 人	会年職員等	0人	②63戸						評価者	より多くの農業者が環境にやさしい農業に取り組めるように、効果的な事業の在り方を検討する必要がある。			
H14 ～	2,530千円		③37戸																	
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	化学肥料・化学合成農業を使用しない有機農業は、環境への負荷が少ない一方、農業者にとっては高度な手法が要求されるものであるが、周知活動や取組への支援を行った結果、取組面積や取組を行う農業者の数が増え、目標を達成することができた。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に			
			重要	自治事務		1,746千円	1,515千円		①有機農業の取組面積 ②カバークロップの取組面積	環境保全型農業に取り組んだ面積	化学肥料・農業等の影響による環境負荷を低減するために、環境保全型農業に取り組んだ面積を指標とする。					前年度に引き続き、周知活動として、作付調査への回答を基に、有機農業に関心のある農業者を対象としたヒアリング及び訪問での制度説明を行った。これにより、次年度に申請を希望している農業者を増やすことができた。	13 気候変動に具体的な対策を			
			根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、環境保全型農業直接支払交付金交付等要綱（国）、所沢市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱（市）		R6予算現額	R6決算額（見込み）									R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			事業の目的及び具体的な内容	1,802千円		1,682千円		実績												R5目標
			環境保全型農業直接支払交付金交付事業	国、県、市一体で、土づくり等を通じた化学肥料・農業等による環境負荷の軽減、農業が有する環境保全機能の向上が図られるような農業者の取組等に対し支援を行う。農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全等に資する取組が対象となる。 化学肥料・化学合成農業を使用しない取組である有機農業、または、化学肥料・化学合成農業を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組とあわせて、次のいずれかの取組ひとつを選択して実施 ①緑肥（カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培） ②炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用 ③地域特認取組 等		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		1,200 a	1,315a		目標達成済								
						0.70 人	会年職員等		0人	R6目標	R6実績									
						5,657千円		①1,345a	1,200 a	1,443a										
						期間	0.41 人	会年職員等	0人	②98a						評価者	より取組面積や取組を行う農業者の数を増やせるよう、環境保全型農業に取り組んでいるが、申請に至っていない農業者に広く周知を行うほか、現在の申請者に対しても最新情報の提供を行っていく。			
						H24 ～	3,346千円													
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	新規就農を目指す意欲ある青年の育成が順調に進み、研修の仕組みである「いるま地域明日の農業担い手育成塾」に5名が参加しているなど、新規就農者を確保していく体制が整っている。これは、就農相談会への参加や、適切な就農相談の受付など、就農支援に向けた施策に積極的に取り組んだ結果であり、今後も継続して行っていく予定である。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに			
			重要	自治事務		18,375千円	18,375千円		①経営開始資金 交付者数（経営体数） ②経営発展支援事業 交付者数（経営体数）	新規就農者数及び研修者人数（経営体数）	農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加という諸課題を解決するため、新たな担い手として独立自営就農を行う新規就農者及び新規就農を前提とするいるま地域明日の農業担い手育成塾生の人数を目標として設定した。					昨年度と同様、就農相談や制度説明だけでなく、実際に新規に就農した方への訪問や体験談などを聞くことにより、様々な観点から就農に向けた検討が行えるよう、就農希望者に声を掛けてきた。 入塾前の事前研修の指導農家に関して、市内農業者で経営感覚に優れ、厳しく指導してもらえる農家を選定している。	8 働きがいも経済成長も			
			根拠法令	農業人材力強化総合支援事業実施要綱、新規就農者育成総合対策実施要綱（国）、新規就農総合支援事業実施要綱（県）、所沢市新規就農総合支援事業実施要綱（市）、農業経営基盤強化促進法		R6予算現額	R6決算額（見込み）									R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			事業の目的及び具体的な内容	23,250千円		19,326千円		実績												R5目標
			新規就農総合支援事業	青年新規就農者に対し、就農初期段階の経営の安定化を図るため、支援する。 【経営開始資金事業】 就農予定時に原則50歳未満で次世代を担う農業者となる強い意欲を有し、人・農地プランに中心経営体として位置付けられている認定新規就農者に対して、経営支援を行う。 【経営発展支援事業】 R4以降の上記新規就農者に対して、機械・施設の導入費の一部を補助する		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		6経営体	7経営体		目標達成済								
						0.51 人	会年職員等		0人	R6目標	R6実績									
						4,121千円		①7経営体	6経営体	7経営体										
						期間	0.69 人	会年職員等	0人	②2経営体						評価者	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。 就農相談の時点で、現実を理解してもらえよう厳しく説明し、就農後に離農した場合のリスクについても説明をする。			
						H24 ～	5,632千円													
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	新規に参入した法人による遊休農地の貸借等により、農地の維持及び地域農業の活性化に寄与した。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに			
			重要	自治事務		238千円	133千円		①対象法人数 ②対象面積	農地所有適格法人等規模拡大面積	新規に参入してから3年目までの農地所有適格法人等が、該当する年度中に新規に借り受ける農地面積（賃貸借+使用貸借で、更新面積は含めない）を目標として設定した。（補助対象外の法人も含む）					参入希望の法人に対して、県や農業委員会と連携し、適切な指導を実施した。 県は企業参入という視点で指導し、市、農業委員会は企業参入だけでなく、農地貸借、農地管理ができるかという視点で指導、相談対応を行った。	8 働きがいも経済成長も			
			根拠法令	所沢市農地所有適格法人等支援事業費補助金交付要綱		R6予算現額	R6決算額（見込み）									R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			事業の目的及び具体的な内容	205千円		174千円		実績												R5目標
			農地所有適格法人等支援事業	遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、賃貸借により耕作面積を拡大した際に、農地の賃借料の一部を補助し、支援する。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		5,000㎡	15,948㎡		目標達成済								
						0.16 人	会年職員等		0人	R6目標	R6実績									
						1,293千円		①1法人	5,000㎡	13,621㎡										
						期間	0.11 人	会年職員等	0人	②29,569㎡						評価者	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。 また、農地管理ができるか事業計画や実績、経験をヒアリングし検討していく。			
						H27 ～	898千円													

80/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	農地の確保が難しい新規就農者への支援を積極的に展開し、必要な借受面積を確保したことにより、今後の農業の発展に寄与するものであると考えられる。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに	
			重要	自治事務		1,226千円	861千円	①農業機械の導入 ②新規就農者の農地面積拡大	新規就農者の規模拡大面積	新規に就農してから3年目までの新規就農者が、該当する年度中に新規に借り受ける予定の農地面積（賃貸借+使用貸借で、更新面積は含めない）を目標として設定した。		8 働きがいも経済成長も						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市新規就農円滑化推進事業費補助金交付要綱	1,600千円		932千円												
			新規就農円滑化推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	15 陸の豊かさを守ろう					
				農業従事者の高齢化や後継者が不足する中で、農業の担い手となる新規就農者に対し、農業経営の早期安定化のため、農業用機械の導入費用の一部や借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。		0.14 人	会 年 職 員 等	0人		5,000㎡	26,087㎡							
						1,131千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			①2件	5,000㎡	20,674㎡						
						0.11 人	会 年 職 員 等	0人		②90,043㎡（補助額447,900円）								
			期間	H27 ～		898千円							評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
										農業振興課長 前田 亘一	新規就農者を増やすために、毎年実施している就農相談会や、通年行っている就農相談の内容等をさらに充実させ、相談者が就農したいと思える環境づくりを進めながら、農業者の経営規模拡大を支援する。 国、市の補助金を利用し、大規模で効率的な農業を目指せるようアドバイスを行っていく。	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理						
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	令和4年度に行った補助事業について、導入2年後の調査を行ったところ、20件中17件の経営体が、補助事業実施により所得額の向上あるいは労働時間の削減につながったとの回答があり、認定農業者の経営を改善する上でも有効な事業と考えられる。また、令和3年度に新設した施設修繕について、令和6年度は2件の利用があった。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに	
			優先	自治事務		21,150千円	20,132千円	①施設整備 ②機械整備 ③施設修繕	機械・施設導入等によって経営が改善した経営体数	導入2年後の調査で、所得向上や労働時間短縮、安定生産など経営が改善したと回答した経営体の数を指標とする。目標値は、2年前の補助件数(施設修繕除く)とする。		8 働きがいも経済成長も						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市認定農業者等経営改善推進事業補助金交付要綱	21,150千円		20,904千円												
			認定農業者等経営改善推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	9 産業と技術革新の基盤を作ろう					
				認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。 ①気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図れる機械や施設③環境にやさしい資源循環型農業に資する機械や施設④災害、盗難等の影響による施設の修繕に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の1／2以内で施設整備は180万円、機械整備は135万円、施設修繕は50万円を限度として補助する。		0.48 人	会 年 職 員 等	0人		21件	21件	物価高騰の影響で思うように所得額を上げられず、現状維持に留まった経営体が2件あった。また、夏季の高温により、農作物が思うように収穫できない経営体が1件あった。						
						3,879千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			①15件 ②4件 ③2件	20件					17件		
						0.37 人	会 年 職 員 等	0人										
			期間	H20 ～		3,020千円							評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
										農業振興課長 前田 亘一	計画作成時や補助事業の報告時に、申告書を添付してもらう等を行い、経営改善の状況をより正確に把握できるよう努める。また、現状の農業経営を取り巻く環境を生産者と市で共有できるように体制を整えていく。 物価高騰等の影響も考慮し、より効果的な補助ができるよう、予算の増額も検討していく。	農業経営の改善により、安定した農作物の供給に寄与した						
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	土から育む有機の産地づくり計画の策定に向け、有機農業に関する生産・加工・流通・消費の各段階の試行的取組を実施し、検討会を開催のうえ計画案の策定を完了させた。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに	
			最優先	自治事務		-	-	①有機農業実施計画の策定に向けた検討会の開催回数 ②農業者向けの有機農業に関する講習会の開催回数 ③市内で有機栽培された農産物を給食として提供した小中学校数	土から育む有機の産地づくり計画（有機農業実施計画）の策定	有機農業に関する試行的な取組の結果を踏まえ、土から育む有機の産地づくり計画の策定を進める。 ※R7以降は同計画に掲げた目標値の進捗確認を行う。		13 気候変動に具体的な対策を						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			有機農業の推進に関する法律、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律、みどりの食料システム戦略（国）、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	6,037千円		6,001千円												
			土から育む有機の産地づくり事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析			15 陸の豊かさを守ろう		
				土づくり等を通じて環境負荷低減を図るとともに、有機農業の取組拡大も進めることで、都市近郊の利点を活かし、地域全体で農の多様性や多彩な魅力を感じられる産地づくりを目指すものである。		-	会 年 職 員 等	-		-	-		目標達成済					
						-				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			①3回 ②9回 ③47校	計画案の策定						計画案の策定	
						0.95 人	会 年 職 員 等	0人										
			期間	R6 ～		7,754千円							評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
										農業振興課長 前田 亘一	有機農業について、生産者側・消費者側それぞれへの意識啓発に向けた働きかけが必要である。	農業・化学肥料等を使用しない有機農業の推進による環境負荷の低減。						
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	目標は達成できなかったが、引き続き、協会からの薬剤等の要望を募り、必要な資材を届け、家畜防疫対策に寄与した。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
			重要	自治事務		900千円	689千円	①豚丹毒（生）予防事業 ②乳牛検査事業 ③豚熱予防接種	実施頭数の合計	家畜伝染病及び周辺環境問題の発生防止を図ることを目的としているため、予防接種の実施頭数を指標としている。目標値としては、家畜（牛・豚）飼育頭数と事業主体からの申請を基に、申請予想頭数を指標とした。		2 飢餓をゼロに						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			家畜伝染病予防法、所沢市家畜防疫対策事業補助金交付要綱	900千円		834千円												
			家畜防疫対策事業費補助事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析			15 陸の豊かさを守ろう		
				家畜への定期的なワクチン接種と検査を実施し、家畜伝染病の発生防止を図る。また、薬剤等の共同購入により、臭気及び害虫等による周辺地域での環境問題の発生防止を図る。事業主体の申請に基づき、家畜伝染病の予防接種並びに検査、環境汚染問題を回避するために、必要な薬剤の購入等経費の一部を補助する。		0.23 人	会 年 職 員 等	0人		2,080頭	1,330頭		市内養豚農家の事業規模が縮小しており、それに伴い、家畜の頭数も減少していることから、接種実施頭数が減少した。					
						1,859千円				R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			①474頭 ②18頭 ③646頭	2,080頭						1,138頭	
						0.19 人	会 年 職 員 等	0人										
			期間	S62 ～		1,551千円							評価者			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
										農業振興課長 前田 亘一	家畜防疫事業に対する補助を継続し、引き続き家畜伝染病等を防除していくとともに、環境問題の発生防止の支援に努めていく。	家畜伝染病の予防による食料の安定供給の確保						

81/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	病害虫防除に関する情報や薬剤の適切使用について、必要な情報発信を行った。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう
			重要	自治事務		1,620千円	1,620千円	①補助実施戸数	薬剤購入費の補助を受けた農家戸数	病害虫防除のための薬剤を購入した農業者への支援であるため、薬剤補助を受けた農家戸数を指標としている。目標値としては、事業主体からの申請に基づき実施するため、申請見込の農家戸数としている。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市病害虫防除対策事業補助金交付要綱	1,620千円		1,620千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析	
			病害虫防除対策事業	安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。 土壌病害虫、根腐病、野菜へのコガネムシ、茶の葉巻虫、カンザワハダニ等を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。		0.14 人	会年職員等	0人	実績	500戸	443戸	執行率が100%となってる事業のため、令和5年度の実績値に近い443戸を目標値としたが価格高騰も影響し、目標値に届かなかった。					
						1,131千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		443戸	210戸							
						期間	0.09 人	会年職員等	0人								
						S63 ～	735千円										
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	表彰式がなくなり、単独事業となったことで、講演会のテーマに対する農業者の関心度合いが浮き彫りとなった。また、参加した11人のうち、アンケートの満足度が満足・やや満足と回答した参加者が7人だったため、農業者がより関心の高いテーマを取り上げることや開催方法の見直し等が課題である。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう
			重要	自治事務		95千円	71千円	①講演会の開催	認定農業者等講演会における認定農業者の参加人数	認定農業者の経営改善に向けた意欲向上を目的とした講演会であるため、講演会に参加した認定農業者等の参加人数を指標としている。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			農業経営基盤強化促進法	103千円		69千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析	
			認定農業者育成事業	認定農業者制度は、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標の達成に向けた「経営改善計画」の認定を受けた認定農業者が計画を実現するための方策に対して、重点的に支援措置を講じるもの。		0.16 人	会年職員等	0人	実績	50人	22人	令和5年度までは、所沢市農業祭の表彰式と同時開催していたが、令和6年度からは表彰式を行わないこととなり、単独事業として開催することとなったため。					
						1,293千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		50人	11人							
						期間	0.24 人	会年職員等	0人								
						H8 ～	1,959千円										
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	婚活イベントの外部委託により、若手農業者のセミナーへの参加率や当日も婚活イベントへの参加者数も例年に比べ希望者が多く集まった。実施後には4組の参加者がマッチングするなど事業内容も有意義なものとなった。農業サポーターにおいても、各農業関係のイベント等を通じてチラシにて周知を行ったことにより、前年度より人数が増加し、援農活動を推進した。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに
			重要	自治事務		530千円	530千円	①研修・交流会、イベント開催数 ②農業サポーター人数	研修会、交流会、イベントへの参加人数	生産者同士だけでなく、市民などの消費者との交流をする機会を増やすことで、生産者や農産物と触れ合い、農業に対する理解と関心を深めてもらうことができるため、交流会等の参加者数を指標とする。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市農業振興総合対策要綱 農業後継者育成確保推進事業実施要領補助金交付要綱	530千円		530千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析	
			農業後継者育成確保推進事業	次代を担う優れた農業後継者及び担い手確保を目的に、所沢市農業後継者対策連絡会の事業の一環として、市内農家へのボランティアによる援農活動を中心とした農業サポーター制度、農産物収穫体験、農業後継者に対する結婚活動イベントなどを実施している。		0.12 人	会年職員等	0人	実績	30名	27名	目標達成済					
						970千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		30名	42名							
						期間	0.11 人	会年職員等	0人								
						S58 ～	898千円										
523	産業 経済 部	農業 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	連携の一環として、所沢市農業委員会委員、所沢市都市計画審議会委員、産業振興ビジョン推進会議委員など各種委員ののとして、同学の知見を提供いただいている。また、農業者に対しては、特産物であるサトイモの点滴灌漑実証実験により収量増・省力化の取り組みを研究しており、市民にたいしては講習会を通じて、大学の知的資源を還元しているところである。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに
			重要	自治事務		246千円	176千円	①イベント等実施回数 ②委員等委嘱数	連携・取組みの実施回数	今後も連携を継続していくため、官学連携協定に基づき実施している研修やイベントの取組回数を指標とした。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	261千円		194千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析	
			大学との交流による都市農業振興事業	国立大学法人東京農工大学の持つ知的資源を活用して、都市農業の重要性を再認識し、農業の担い手の育成・確保や将来の農業経営にかかる問題解決に取り組むとともに、市民に対しては、家庭菜園教室などを通じて「農のあるまちづくり」の推進を図る。また、東京農工大学と本市の若手農業者や先進農家の交流を促すことにより、農業振興を図る。		0.23 人	会年職員等	0人	実績	12回	14回	目標達成済					
						1,859千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		12回	13回							
						期間	0.21 人	会年職員等	0人								
						H25 ～	1,714千円										

82/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会 計	経費			成果				総 合 評 価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
523		農業 委員 会事 務局	農業 委員 会事 務局	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする情報提供は果たしている。 次年度以降も引き続き事業を継続し、広報の役割を果たせるように努める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
				優先	自治事務		550千円	481千円	①発行回数 ②配布戸数	配布率（％） （配布戸数÷対象農家戸数） 市内農業者への情報提供が目的であることから配布率を指標とし、農地所有者及び耕作者への配布を目標とする。		R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析						
				根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
				農業委員会等に関する法律	537千円		505千円											
				事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
				期間	S53 ～		0.22 人	会 年 職 員 等	0	実績	100.0%	100.0%	目標達成済					
							1,778千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①2回	R6目標	R6実績						
							0.22 人				100.0%	100.0%						
							1,796千円				②1回目2,341戸 2回目2,338戸							
				523			農業 委員 会事 務局				農業 委員 会事 務局	実施計画ランク	事業の種別	一 般 会 計			R5予算現額	R5決算額
優先	法定受託事務	131千円	151千円			①遊休農地調査面積 ②是正面積		是正率（％） （是正面積÷遊休農地調査面積） 遊休農地の是正が目的であることから、是正率を指標とする。 80%の是正率を目標とする。		R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析								
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）																
農地法	131千円	148千円																
事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																
期間	H11 ～	0.67 人	会 年 職 員 等			0		実績	80.0%	82.7%		目標達成済						
		5,414千円	R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合		①1,228,079㎡ ②977,049㎡	R6目標	R6実績								
		0.67 人							80.0%	80.0%								
		5,469千円							②977,049㎡									
523		農業 委員 会事 務局							農業 委員 会事 務局	実施計画ランク		事業の種別	一 般 会 計		R5予算現額	R5決算額		項目名
			優先	自治事務	0千円	0千円	①売買および貸借成立件数 ②利用集積農地面積	利用集積農地面積（㎡） 農地の利用集積が目的であることから、利用集積された農地面積を指標とする。 農地の売り渡し・貸し付け希望に対して、買い受け・借り受け希望が少ないことを考慮した目標値とする。		R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析								
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）													
			所沢市農地サポート事業実施要綱	0千円	0千円													
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合													
			期間	H22 ～	0.15 人	会 年 職 員 等	0人	実績		20,000㎡	66,846㎡	目標達成済						
					1,212千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①17件 ②59,888㎡		R6目標	R6実績							
					0.15 人					20,000㎡	59,888㎡							
					1,224千円					②59,888㎡								
			523		農業 委員 会事 務局					農業 委員 会事 務局	実施計画ランク	事業の種別		一 般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名
-	法定受託事務	2,588千円				2,211千円	①農地等情報移動発生筆数 ②入力筆数	農地基本台帳システムへの農地等情報移動筆数の入力割合（％） （入力筆数÷農地等情報移動発生筆数） 農地情報の整備が目的であることから、情報の入力割合を指標とし、100%の入力を目標とする。			R5目標 R5実績 R6目標値が未達成の理由・分析							
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）																
農地法	5,975千円	5,593千円																
事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																
期間	H27 ～	0.53 人				会 年 職 員 等	0人	実績	100.0%		100.0%	目標達成済						
		4,283千円				R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①18,278件 ②18,278件	R6目標		R6実績							
		0.53 人							100.0%		100.0%							
		4,326千円							②18,278件									

83/128

計画 コード	所属 名称 (部局)	所属 名称 (所属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果			総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標		評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		B	折り紙ヒコーキ協会の講師を迎え、短編映画上映会と折り紙ヒコーキのワークショップを実施し、目標の来場者数には届かなかったものの、イベントのアンケート結果は概ね好評であった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			-	自治事務		200千円	147千円		①市主催による短編映画の上映会・講演会の開催 ②上映会開催によるPR（上映会参加者）	視聴者数	映画を視聴していただくことで、航空発祥の地・所沢の認知が増えるとともにフランスとの関係性が伝播していくと考える。			上映会に際し、航空ファンに対する講演会ではなく、ファミリー向けのワークショップを行った。			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			-	170千円		50千円											
			「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績			市民文化フェアや空飛ぶ音楽祭など、短編映画を上映する場が無くなってしまったこと、また、小中学校の先生の異動等によって校内での上映が減っていることなどが、視聴者数減の原因と思われる。今後、改めて各学校へ短編映画の周知を行っていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
				本事業は、日本で初めてできた飛行場跡地に整備されている「所沢航空記念公園」を観光資源としてさらに魅力を高めるため、「短編映画の発信」等による磨き上げを行うことで、市近郊からのマイクロツーリズムを推進するとともに、フランス航空教育団を通じた日仏交流の更なる推進を図るものである。 具体的な取り組みとして、令和4年度に制作した短編映画「飛行場のまち 所沢から始まる物語」を活用し、フランス航空教育団の歴史や「航空発祥の地 所沢」を子供たちを中心に広く発信していく。		0.39人	会 年 職 員 等	0.08人		1,000人	942人						
						3,152千円			①1回開催	R6目標	R6実績						
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			1,000人	351人						
期間	0.33人	会 年 職 員 等	0.15人	②351名				評価者	各小中学校や市内施設などに対する周知方法を検討していく。	所沢が持つ、航空発祥の地という固有の歴史を伝え、観光資源としての魅力をさらに磨き上げていく。							
R4 ～	2,693千円																
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		A	特産品等販売売上、駐車料金収入等昨年度を下回る収入となったが、目標を達成することができた。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
			最優先	自治事務		117,749千円	112,553千円		①来館者数 ②駐車料金収入 ③特産品販売総売上	管理委託料に対する収入割合	管理委託料に見合った販売収入及び自主事業収入・使用料等が収入として入っているか。			市民フェスティバル等の市内イベントだけでなく、市外イベントにも出店を行い所沢市観光情報・物産館の認知度向上に努めた。 また、カフェメニューの見直しや「こども食堂もぐもぐ」等の新規イベントの企画実施等を行った。		9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			地方自治法、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の推進に関する法律、所沢市観光情報・物産館条例	101,326千円		97,561千円											
			「所沢市観光情報・物産館」活用事業（COOL JAPAN FOREST構想事業）	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
				令和3年5月29日に開館した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用していく。 具体的な取組み内容としては、指定管理者である所沢まちづくり共同事業体とともに、適正かつ円滑に所沢市観光情報・物産館の管理運営及び活用を行っていく。		1.32人	会 年 職 員 等	0.08人		150.0%	153.2%						
						10,667千円			①227,187人 ②11,663,458円 ③80,479,421円	R6目標	R6実績						
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			200.0%	227.9%						
期間	0.97人	会 年 職 員 等	0人			目標達成済	評価者	今後、更なるカフェメニューの見直しや、新規イベントの実施を行い、地元地域住民だけでなく、新たな顧客獲得に繋がるような取り組みを実施する。		特産品の販売、PRを行った。イベント時に所沢産野菜の特設販売を行った。観光情報を発信し、市内観光業等の支援につながった。							
H29 ～	7,917千円																
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		A	寿町駐車場については、R6.10から工事のため供用を中止しており、それを見込んだ目標数値とした。結果は、それを上回る利用台数となり、本事業の目的が達成できたと考えられるため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務		65,186千円	61,369千円		①寿町駐車場使用料収入 ②元町地下駐車場使用料収入	寿町駐車場及び元町地下駐車場の合計利用台数	多くの方に商店街をご利用いただくため、駐車場の利用台数を指標とし、商店街振興に繋がっているかを確認する。			駐車場の老朽化したフェンスを修繕し、利用者の安全確保に努めた。			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市寿町駐車場条例、所沢市元町地下駐車場条例	59,239千円		55,806千円											
			市営駐車場管理事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
				地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興を図ることを目的とする。寿町駐車場及び元町地下駐車場の2ヶ所を対象とする。		0.38人	会 年 職 員 等	0.08人		130,000台	134,310台						
						3,071千円			①4,286,370円 ②18,438,690円	R6目標	R6実績						
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			107,100台	114,048台						
期間	0.77人	会 年 職 員 等	0.15人			目標達成済	評価者	地元商店街利用者の利便性を確保するため、安定的な駐車場の提供が必要である。 また、分かりやすい案内・料金表示を実施するなど利用者目線を意識した管理運営が必要である。		駐車場の安定的な管理運営により、地元商店街利用者の利便性を確保している。							
S44 ～	6,285千円																
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		B	来場者数及びイベント参加者数が目標値を下回ったため。一方で、各種イベントや展示の実施により来場者数及びイベント参加者数は年々増加しており、事業の目的は達成できたと考えられるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		6,250千円	6,250千円		①自主事業開催回数 ②貸しスペース使用料収入	来場者数及びイベント参加者数	中心市街地活性化が目的であるため、その拠点施設である野老澤町造商店の来場者数及びイベント参加者数を指標とした。			職員ボランティアと協力し、各種イベントに所属や年齢に囚われず多くの市職員が参加した。		11 住み続けられるまちづくりを	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市中心市街地活性化拠点施設運営要綱	6,250千円		6,250千円											
			中心市街地商業活性化事業（野老澤町造商店負担金）	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
				商業の振興や来街者の増加を図り、中心市街地全体の活性化を目指す。当施設は、市民の交流の場・情報発信の拠点として各種の展示のほか、中心市街地でのイベントの開催も行っている。 【中心市街地活性化拠点施設運営事業として、施設の賃借料、光熱水費を所沢商工会議所と分担（所沢商工会議所負担分：1,250千円）】		0.29人	会 年 職 員 等	0.05人		46,900人	36,034人						
						2,343千円			①8回 ②50,800円	R6目標	R6実績						
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合			46,900人	40,254人						
期間	0.28人	会 年 職 員 等	0.05人			目標達成済	評価者	ボランティアや事務員の高齢化が進み、事業の中心となる担い手が不足している。そのため、中心市街地活性化とともに次世代への継承に向けた取り組みが必要である。		中心市街地のにぎわいづくりに貢献している。							
H16 ～	2,285千円																

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費		成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)				
						投入コスト		活動実績(R6)		成果指標			評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス蔓延以前と比べて同規模のまつりを開催できた。 また、重点目的として「安心安全で持続可能なまつり」を設定し、事故なく開催することができたため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		4,000千円	4,000千円	①イベント数	来場者数		所沢の歴史と文化を後世に伝えることや商店街活性化を始め、経済効果を生むことが目的であるため、来場者を指標とした。 また、令和7年度はところざわまつり大祭の年にあたり、2日間開催となることから、昨年度から20%増を目標値とした。				R6目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス蔓延以降中止となっていた一部イベントを復活させ、より多くの市民・団体がまつりに参加することができた。	11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）														
			-	4,000千円		4,000千円														
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	R5目標											R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			ところざわまつり支援事業	所沢の歴史と文化を後世に伝え、人と人のつながりや、商店街の活性化を始め、経済効果を生むところざわまつりの開催の支援を目的とする。実行委員会に対し、開催費を商工会議所と分担金として負担するとともに、山車運営委員会、イベント運営委員会の事務局を担当。		1.02人	会年職員等	0.25人	実績	220,000人	200,000人	目標達成済			令和7年度は10年ぶりの2日間開催になり、更なる賑わいが想定されるため、警察等の関係機関・団体と協議し交通対策を実施する必要がある。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			
						8,243千円				R6目標	R6実績									
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	220,000人		220,000人										
						1.03人	会年職員等	0.25人												
						8,407千円														
期間																				
S63	～																			
531	産業 経済 部	商業 観光 課			実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠					A	所沢市商店街連合会は、市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である。商店街振興を図るため、引き続き同会を支援していく。	R6年度に改善した点
			重要	自治事務	210千円	210千円		①加入商店街数 ②実施事業数	商店街連合会加盟商店街の会員数		市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することを目的としていることから、商店街連合会加盟商店街の会員数としている。目標値は前年実績。				国・県・市が実施する事業について、直接商店街を訪問することでより丁寧な情報共有を行った。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）															
			所沢市商工団体補助金交付要綱	210千円	210千円															
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標											R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢商店街連合会補助金	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することにより、本市の商業振興を図るものである。	0.11人	会年職員等		0.01人	実績	1,190事業者	1,212事業者	後継者不在による廃業等により商店街連合会の会員に限らず市内商店街全体として会員数が減少している。	商店街の減少に歯止めをかけるため、活性化に向けた取り組みを検討・実施していく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
					889千円					R6目標	R6実績									
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①29商店街		1,190事業者	1,189事業者									
					0.08人	会年職員等		0.01人												
					653千円															
期間																				
S59	～																			
531	産業 経済 部	商業 観光 課			実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠		B	商店街の会員数は後継者の不足に加え、商店街エリアに新規出店した店が商店街に加入しないことなどにより減少傾向にある。しかしながら、事業の実施が減少を最小限に抑えることに繋がっている。	R6年度に改善した点
			優先	自治事務	30,000千円	19,801千円		①補助事業件数 ②補助金交付額	商店街加盟店舗数		商店街が事業を実施した結果、エリアが活性化することを見込んでいる。商店街がにぎわいのあるエリアになることで、商店街加盟店舗数が維持され、商業が持続して発展することを目指す。				商店街運営の在り方も変化する中、補助金の適切な申請をするよう周知をした。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）															
			所沢市魅力ある商店街創出支援事業補助金交付要綱	32,540千円	25,568千円															
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標											R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析
			魅力ある商店街創出支援事業	市内の商店街の振興と活性化を目的とし、補助金交付を行う。 ・共同施設整備事業 補助率：1/3以内 ・共同事業 補助率：事業内容により1/2、2/5、1/3以内 ・街路灯電気料 補助率：1/2（千円未満切り捨て）	0.69人	会年職員等		0.30人	実績	1,325店舗	1,318店舗	後継者不在による廃業や商店街未加入の店舗があることで、目標が未達成となっている。	商店街は、地域の賑わいの拠点であるとともに、地域住民の重要な社会資源である。商店街の魅力向上によって加入店舗が増加し、更なる盛り上がりにつながるよう、商店街づくりの支援を行っていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
					5,576千円					R6目標	R6実績									
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①120件		1,318店舗	1,289店舗									
					0.54人	会年職員等		0.30人												
					4,407千円															
期間																				
S57	～																			
531	産業 経済 部	商業 観光 課			実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠		B	商店街加盟店舗数が減少するも、新しいお店がオープンすることで新規客が商店街を訪れるようになっており、商店街の活性化に繋がっている。	R6年度に改善した点
			重要	自治事務	2,400千円	2,200千円		①本補助金活用店舗数	商店街加盟店舗数		空き店舗解消というアプローチで商店街の活性化を図る。商店街加盟店舗数が維持され、そのエリアの商業が持続して発展することを目指す。				補助金の問い合わせに対し丁寧な聞き取りを行うことで、事業内容がどうにぎわいに繋がるか検討した。	どのように貢献したか				
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）															
			所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱	2,400千円	2,207千円															
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標											R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析
			空き店舗活用・新規創業支援出店補助事業	新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗の活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。 市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。 ・補助金額 経費の1/3以内（限度額120万円）	0.37人	会年職員等		0人	実績	1,325店舗	1,318店舗	後継者不在による廃業などに起因する店舗数減少が、新たな加入店舗数を上回ったことで、目標が未達成となっている。	商店街で新規創業する人が継続して現れるよう、ニーズに応じた事業内容を検討する。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
					2,990千円					R6目標	R6実績									
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①3店舗		1,318店舗	1,289店舗									
					0.39人	会年職員等		0.01人												
					3,183千円															
期間																				
H24	～																			

85/128

計画 コード	所属 名称 (部局)	所属 名称 (所属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		SDGsへの貢献 (最大3つ)							
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。 引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるように関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			重要	自治事務		10,200千円	9,986千円		①トイレ清掃回数（狭山湖・トトロ口の森観光トイレ）	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。		トトロ口の森観光トイレ設備の交換等観光拠点の整備を行った。			11 住み続けられるまちづくりを							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）		②桜並木ライトアップ日数									R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
				観光立国推進基本法		8,866千円	8,440千円		③狭山湖駐車場利用台数														
			観光拠点の整備・充実事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績		7,500,000 人	8,240,677 人	概ね達成済。											
				市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場修繕 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ		0.44 人	会 年 職 員 等		0 人														
						3,556千円			R6目標	R6実績													
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①469回	7,800,000 人	7,765,568 人													
			期間	H7 ～		0.34 人	会 年 職 員 等	0 人	②14日	③61,482台													
						2,775千円																	
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	イベント参加回数は減少しているが、引き続き狭山丘陵の魅力発信に努める。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを						
			重要	自治事務		60千円	0千円		①共同事業への参加回数	狭山丘陵関連プロモーション件数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町、狭山丘陵パートナーズ等の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の件数とした。		R5も参加した「さやまKIDSDAY」の来場者により楽しんでいただくため、トコロんのグリーティングの時間を増やした。			12 つくる責任 つかう責任							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）		R5目標									R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
				観光立国推進基本法		60千円	0千円		実績	6件	1件	補助金等の財源が確保できなくなり、狭山丘陵観光関連団体でのイベント実施が縮小しているため、未達成となっている。											
			狭山丘陵の魅力の発掘・向上事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.24 人					会 年 職 員 等			0 人	R6目標	R6実績					
				武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町、狭山丘陵パートナーズ等の5市1町等で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。		1,939千円				①1回													
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	0.23 人	会 年 職 員 等				0 人			評価者	多くのの方に狭山丘陵を訪れ、楽しんでもらえるように関係機関とも連携しながら、狭山丘陵の魅力向上に努めていくとともに、イベント等で配布する新たなノベルティグッズの製作を検討する。	狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。					
						期間	H30 ～	1,877千円					商業観光課長 松本 圭四郎										
			531	産業 経済 部		商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名			指標名		目標設定の考え方・根拠		B	目標件数を達することができなかったため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
							最優先	自治事務		1,600千円	1,513千円		①補助事業件数 ②補助金交付金額			本補助金活用件数	予算額2,000千円 (1事業限度額200千円×10件)		補助回数の上限や条件を設定し、新規団体からの申請を抑制しないようにした。				
根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）			R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析															
	にぎわいitコロ創出支援事業補助金交付要綱	2,000千円								1,694千円		実績	8件	8件	対象の事業を行っている団体への周知が足りず、活用につながらなかったため。								
にぎわいitコロ創出支援事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		0.36 人	会 年 職 員 等		0 人	R6目標					R6実績							
	本事業は地域の特性を生かした人を中心にしたにぎわい拠点の創出、活性化に向けた事業を行うものに対し、事業費の一部を補助するものである。 市内のさまざまな観光拠点を繋ぐ公共交通等の利用を推進することで、マイカー移動では生まれなかった街中から市内全域に広がる新たな人流を作り、そこから発生する出会いやにぎわいによってまちの魅力向上を図る。	2,909千円											①9件	10件			9件						
		R6正規職員人件費			R6その他職員従事割合		0.27 人	会 年 職 員 等		0 人	②1,694,000円												
		期間			R5 ～		2,204千円								商業観光課長 松本 圭四郎								
531	産業 経済 部	商業 観光 課			実施計画ランク		事業の種別	一般 会 計		R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	No.1砂川堀せせらぎおさんぼコース、No.6狭山湖とトトロの森おさんぼコース、No.9八国山おさんぼコースに道標を設置・更新し、市内を歩きやすく、歩きたくするような環境を整備することができた。 また、No.6狭山湖とトトロの森おさんぼコースについては、観光案内板の表示内容更新を行った。			R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
					最優先		自治事務			7,800千円	7,100千円		①道標設置コース数 ②道標設置・更新数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。		No.1砂川堀せせらぎおさんぼコースについては、電柱広告を活用し、費用を抑えることができた。						
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額（見込み）		R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析													
				観光立国推進基本法	7,800千円	7,217千円					実績	7,500,000人	8,240,677人	概ね達成済み									
			「まち」×「みどり」のおさんぼコース道標等整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.73 人		会 年 職 員 等	0 人					R6目標	R6実績							
				市内内外からの観光客の増加を図るため、市内の観光スポット等の場所や経路を示す道標や観光案内板等を整備する。 市内を歩きやすく、また、歩きたくするように、「まち」×「みどり」のおさんぼコース上の道標やコース全体を示す観光案内板等を中心とした整備を行い、一層の充実を図る。	5,899千円							①3コース（No.1、6、9） ②34基（No.1:24基、No.6:4基、No.9:6基）	7,800,000人				7,765,568人（予定）						
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	0.55 人		会 年 職 員 等	0 人	評価者				道標設置が観光客増加につながることを検証する方法がないため、今後は何らかの方法を考案する必要がある。	市内内外からの観光客増加により地域が活性化し、持続可能なまちづくりに貢献できる。							
					期間	R5 ～	4,489千円							商業観光課長 松本 圭四郎									

86/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
531	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	予定通り工事が実施されている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまち づくりを
			優先	自治事務		5,500千円	5,170千円		①工事請負費予算額 ②工事請負費決算額	工事の実施状況	寿町駐車場及び周辺の安全確保のため、適切に整備を行う必要があることから、工事の実施状況を指標とした。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市寿町駐車場条例	29,400千円		11,100千円											
			所沢市寿町駐車場整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.29 人	会年職員等	0.01人									
						2,343千円											
			期間	所沢市寿町駐車場の東川護岸等の老朽化が著しいため、整備を実施するもの。 令和5年度：設計 令和6年度：着工 令和7年5月：竣工		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①29,400,000円 ②11,100,000円 (18,300,000円は翌年度通次繰越)	設計	設計	令和6年度は予定通り工事が着工された。					
						0.28 人	会年職員等	0人	着工	着工							
R5 ～	2,285千円																
532	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	他自治体と連携したイベント等への参加回数を増やすことができなかった。 また、シェアサイクルについてはステーション数及び利用者数とともに年々増加している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		0千円	0千円		①シェアサイクルステーション数 ②広域連携による観光プロモーション数	シェアサイクル利用者数	観光客の回遊性を高める方法の一つとしてシェアサイクルを導入した。利用者が増えれば、回遊性向上に貢献できるため。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			-	0千円		0千円											
			観光客回遊性創出事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.25 人	会年職員等	0.1人									
						2,020千円											
			期間	本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討し、広域連携の取組みを活かして回遊性の向上を図る。 具体的な取り組み内容 ①シェアサイクルの導入 ②広域連携による回遊性向上に向けた事業の検討 ・埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイヤプラン）観光部会 ・西武線沿線サミット ・狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①108 ②6回	-	29,641 人	R7年度より、指標の見直しを行ったため、R5目標及びR6目標の数値を未記入としている。					
						0.48 人	会年職員等	0.25 人	R6目標	R6実績							
R2 ～	3,918千円							-	45,831 人								
533	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう
			優先	自治事務		2,928千円	2,498千円		①認定商品申請件数 ②認定商品選定件数 ③販売協力店舗数（認定者自店舗含む）	【～R4まで】 ①認定商品の選定件数（H30～R4年） ②販売協力店舗数（H30～R4年） 【R5～】 所沢ブランド特産品のPR回数	令和5年度以降、販路支援に重点を置いた事業としていくことから、販路支援策の一つである情報発信の回数を目標値に設定した。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢ブランド特産品推進事業	2,910千円		2,035千円											
			所沢ブランド特産品推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.83 人	会年職員等	0.45人									
						6,707千円											
			期間	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する物産を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする。 今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資していくものである。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①10件 ②3件 ③3店舗	70回	80回	目標達成済					
						0.65 人	会年職員等	0.45人	R6目標	R6実績							
H29 ～	5,305千円							70回	71回								
533	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	R7年度より、予算が減額となってしまうため、限られた予算の中でも事業を継続していけるよう設定したものの。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		500千円	500千円		①クアオルト健康ウォーキングの実施回数	①参加人数 個人ツアー/法人ツアー	本事業は「クアオルト健康ウォーキング」を多くの人に利用してもらい、健康づくりや産業・観光振興、環境保全等の事業を推進することを目的とする。						
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱	500千円		500千円											
			ヘルスツーリズム産業創出支援事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.50 人	会年職員等	0.20人									
						4,041千円											
			期間	埼玉県のヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①個人20回/法人2回	-	個人138人/法人17人	R7年度より、指標の見直しを行ったため、R5目標及びR6目標の数値を未記入としている。					
						0.56 人	会年職員等	0.25人	R6目標	R6実績							
H31 ～	4,571千円							-	個人85人/法人74人								
評価者	商業観光課長 松本 圭四郎																

87/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費		成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト		活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
533	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	所沢市への愛着度は、平成28年度以降増加傾向にあるため、R7目標についても、R6実績値よりも高い数値に設定した。	R6年度に改善した点		3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		0千円	0千円	①協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	市民意識調査の「所沢市への愛着度」の数値	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定」（フレンドリーシティ）を締結し、様々な事業を展開している。 ライオンズ×所沢市の事業を通し、本市ならではのブランド価値を高めることで、所沢市への愛着度の増加を目指すもの。							
			ブランド価値の向上事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）										
				-		0千円	0千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			期間	プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める”ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成していく。		0.28人	会年職員等	0.15人	実績	-	86.5%	R7年度より、指標の見直しを行ったため、R5目標及びR6目標の数値を未記入としている。					
						2,263千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	-	87.9%								
						0.45人	会年職員等	0人									
H17～	3,673千円									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか					
		協働事業の一環として、試合への無料招待などを実施した。															
		本市の貴重な観光資源として、西武ライオンズとフレンドリーシティの枠組みを超えた本拠地ならではの協働事業等を実施する。また本市が参画している西武線沿線サミットと連携した取り組みを実施する。								評価者		協働事業の一環として、試合への無料招待などを実施した。					
										商業観光課長 松本 圭四郎							
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	令和7年の開催に向けた準備が着実に進んでおり、5市で同時に開催するプレイベントを企画、職員用のネックストラップを製作など、開催前の広報活動を効果的に行っているため。	R6年度に改善した点		8 働きがいも経済成長も
			最優先	自治事務		-	-	①共創自治体での打ち合わせ ②万博PRツールの制作件数	万博出展に関連してPRしたイベントの開催日数	当該事業の目的は所沢市が誇る名産品である狭山茶の普及促進であることから、イベントの開催前後も含め、そのことを利用したPRの接触面積を指標とした。							
			2025年大阪・関西万博 お茶が織りなす日本文化展事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）										
				所沢市産業振興ビジョン		2,400千円	2,400千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			期間	所沢市が誇る名産品である狭山茶の普及促進を目的として、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）における万博首長連合自治体参加催事枠に連携自治体（入間市、狭山市、生駒市、鈴鹿市）とともに出展する。		-	会年職員等	-	実績	-	-	目標達成済					
						-			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	10	10								
						0.44人	会年職員等	0人									
R6～R7	3,591千円									評価者		狭山茶の普及啓発による産地への観光客誘因に伴う経済の活性化					
		今回、出展する大阪・関西万博のLOCAL JAPAN展には5市でTeaJourneyとして共創出展するものであるが、その中でも所沢市としてのPRも行うため、様々な機会を活かしたPR活動を行う。また、出展後も万博レガシーとして、共創自治体と連携した施策を検討する。								農業振興課長 前田 亘一							
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	目標としていた茶香炉利用イベント数を達成したほか、組織内での貸出所属数も昨年度より大幅に増加した。各所属より、お茶の香りが職員や来庁者に喜ばれているとの声が寄せられており、狭山茶の普及に効果的であると考えられる。	R6年度に改善した点		11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		330千円	180千円	①設置台数 ②組織内貸出所属数 ③外部貸出件数	茶香炉利用イベント数	所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を、その香りを通じてPRすることを目的に実施している事業であるため、人が多く集うイベント時の利用回数を指標とした。							
			香(こう)感度アップ！狭山茶PR事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）										
				所沢市産業振興ビジョン		651千円	308千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
			期間	狭山茶の香りを楽しむことができる茶香炉（お茶の香り出し器）を市内の公共施設に設置するとともに、各種イベントで活用することで、香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施するもの。		0.31人	会年職員等	0人	実績	20件	24件	目標達成済					
						2,505千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	20件	21件								
						0.34人	会年職員等	0人									
R4～	2,775千円									評価者		商品のとして利用できない茶葉を有効に活用した。					
		農業振興課長 前田 亘一															
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	協議会の構成団体と協力し、「全国植樹祭1年前記念イベント（越谷レイクタウン）」や「農業遺産シンポジウム・展示フェア（二子玉川ライズ）」などの新たなイベントへの出展を行い、農法を知らない層への周知を進めている。	R6年度に改善した点		13 気候変動に具体的な対策を
			重要	自治事務		200千円	200千円	①総会・幹事会開催回数	武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定に係る取組の進捗	世界農業遺産の認定を受け、農法の維持・保全に向けたブランド化を図ることを目標とする。							
			世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額（見込み）										
				世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会規約		781千円	718千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標				R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			期間	「農業遺産」への認定を通じて、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとしての武蔵野の落ち葉堆肥農法を広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進するものである。		0.49人	会年職員等	0人	実績	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	目標達成済					
						3,960千円			R6目標	R6実績							
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①13回	農法の継続推進・周知	農法の継続推進・周知							
						0.48人	会年職員等	0人									
H29～	3,918千円									評価者		実践農業者が取組を続けていけるように、引き続き協議会を中心として保全の方策を検討していく。 また、本地域の農業システムに触れられる機会を広げ、市の内外への周知を図る。					
		環境にやさしい農法により、周辺環境への負担を低減。								農業振興課長 前田 亘一							

88/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 （最大3つ）
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標			評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	とことこ市の開催支援、団体による農産物販売会の支援、地産地消レシピや直売所ガイドマップ等の作成を行うとともに、各種イベント等で地産地消レシピや直売所ガイドマップを配布するほか、婚姻届け及びパートナーシップファミリー制度の届出者に1000円分の農産物引換券を配布し、所沢産農産物のPRを図った。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
			優先	自治事務		4,673千円	4,314千円	①とことこ市開催回数 ②とことこ市売上	所沢農産物の直売所への出荷割合		地元農産物がどれだけ所沢で消費されているかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直場所または、スーパーなどへの出荷率を指標とした。				地産地消レシピを制作協力している西武学園と市民向けのレシピ教室を開催し地産地消の推進に努めた。	2 飢餓をゼロに	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	5,412千円		5,075千円											
			地産地消推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	8 働きがいも経済成長も	
						0.77人	会 年 職 員 等		0人								
						6,222千円	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①25回	R6目標						R6実績
						0.85人					会 年 職 員 等						0人
期間	新鮮でおいしい所沢農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。 所沢農産物の学校給食への導入及び品目拡大、市民へのPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。	0.85人	会 年 職 員 等	0人	②2,526,140円			目標達成済	評価者	どのように貢献したか							
H15～		6,938千円															
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	体験農場講習会において、播種の時期となる春と夏に複数日・複数会場で開催することにより、多くの方に参加いただき、必要な技術等を周知することができた。 また、有機農業専用農場の貸出開始に伴い有機農業講演会を開催した。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに	
			重要	自治事務		3,768千円	3,491千円	①貸出区画数 ②体験農場利用料	講習会の参加人数		体験農場の利用者を対象に、作物の作付や防虫など技術的な知識を習得するため、年度内に2回（春・夏）「体験農場講習会」を実施している。利用者の技術と意欲の向上及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。				向陽町農場（14区画）を有機農業専門の農場にするとともに、若松農場（45区画）を新たに開設した。	3 すべての人に健康と福祉を	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	2,370千円		2,104千円											
			体験農場推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	11 住み続けられるまちづくりを	
						0.73人	会 年 職 員 等		0人								
						5,899千円	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①549区画	R6目標						R6実績
						0.77人					会 年 職 員 等						0人
期間	市内10箇所の体験農場で市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深め、「農のあるまちづくり」を推進することを目的とする。 また、利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めるため、講習会を実施する。	0.77人	会 年 職 員 等	0人	②1,940,400円			目標達成済	評価者	どのように貢献したか							
S59～		6,285千円															
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	天候にも恵まれ、売り上げ目標を達成できた。特に、2日目の早い時間帯に、準備していた商品を売り切る団体もあり、全体を通して売れ行きが好調であった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		500千円	500千円	①農業祭イベントの開催 ②農業祭実行委員会開催回数 ③共進会、品評会の実施	農業祭での売上実績		事業の主たる目的が生産者と住民とのふれあい機会の創出による所沢農産物の地産地消の推進及びブランド化であることから、生産者と住民の接点となるイベント時の直接販売結果である売上実績を指標とする。				市内の地元産農産物を置いているスーパー等に、開催周知用のポスターの掲示を依頼した。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			農業祭開催費補助金交付要綱	500千円		500千円											
			農業祭開催推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	15 陸の豊かさも守ろう	
						0.40人	会 年 職 員 等		0人								
						3,232千円	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①10/26.27に開催 ②2回開催	R6目標						R6実績
						0.33人					会 年 職 員 等						0人
期間	販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。 農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。	0.33人	会 年 職 員 等	0人	③4団体で実施（植木生産組合、園芸協会、茶業協会、農業後継者協議会）			目標達成済	評価者	どのように貢献したか							
S53～		2,693千円															
533	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	豊島区メトロポリタンプラザビルでの新茶販売会をはじめ、中央区HARUMI FLAGマルシェ、上田市紅葉まつりや茅ヶ崎フェスティバルなど市外のイベントを活用し所沢農産物のブランド化を推進した。	R6年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
			重要	自治事務		805千円	774千円	①市外の顧客をターゲットにしたイベントへの出展日数 ②イベントに出展した茶園の数	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験参加者		市内外の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。				・市外イベントへの出展数を増やした。 ・ミックスティー体験ワークショップを展開し、お茶の新たな魅力を発信した。 ・上田市と共創し、りんご和紅茶を開発し販売した。	11 住み続けられるまちづくりを	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	803千円		700千円											
			所沢農産物ブランド化推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.31人	会 年 職 員 等		0人								
						2,505千円	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①12日	R6目標						R6実績
						0.37人					会 年 職 員 等						0人
期間	消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。 オリジナルデザインシールの作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、市内外でのPR活動、長野県上田市との産業交流による所沢農産物PR	0.37人	会 年 職 員 等	0人	②5園			目標達成済	評価者	どのように貢献したか							
H31～		3,020千円															

計画 コード	所属 名称 (部局)	所属 名称 (所属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)			
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標		総合 評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
534	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	埼玉県物産観光協会の「インバウンド有力コンテンツ」事業を活用し、海外への本市の魅力を発信したほか、FAMツアーの受入れを行った。また、外国観光ガイドの養成等、外国人観光客受入体制を整備するとともに、都内観光案内所やホテル等でのパンフレット配架によるPRを行った。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	10 人や国の不平等をなくそう
			優先	自治事務		7,756千円	7,436千円		①WEB記事のPV数（海外向け） ②FAMツアーの受入数 ③国内外の旅行会社との商談会の回数	X(旧Twitter)フォロワー数	SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook「いいね」とTwitterのフォロワー数を指標とする。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			-	734千円		639千円												
			インバウンド戦略推進事業（COOL JAPAN FOREST構想事業）	事業の目的及び具体的な内容 高まるインバウンド需要を受け、「ところざわサクラタウン」等を目的に来日する外国人観光客を中心とした市外からの来訪者を対象に、豊かな自然や歴史等の地域資源について情報発信するとともに、市内における外国人観光客の受入体制整備を行う。 具体的な取り組み内容 ①国外への市内観光情報の発信 ②FAMツアーの受入れ ※海外の旅行会社やメディア、インフルエンサーなどに市内観光地を視察してもらうツアー ③海外現地旅行会社とのネットワークづくり		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	5,600人	13,098人	R6目標値が未達成の理由・分析						
						1.27 人	会年職員等	0.08人										
						10,263千円												
						期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①148回	5,700人	14,634人	目標達成済					
			H30 ～	1.12 人			会年職員等	0.1人	②4回									
							9,141千円			③2回								
534	産業 経済 部	商業 観光 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	トコロんの運用において、羽生市や成田市など、他自治体主催するゆるキャライベントに積極的に参加し、市外へのPRの機会を広げた。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		6,099千円	4,418千円		①トコロん市外イベント回数 ②ロケ実施回数 ③市主催観光大使出演回数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。 【観光大使出演イベント】 ①就任式（坂巻 有紗氏） ②ところざわまつり（坂巻 有紗氏） ③市民フェスティバル（坂巻 有紗氏） ④シティマラソン（坂巻 有紗氏）							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			観光立国推進基本法	3,609千円		3,029千円												
			効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	事業の目的及び具体的な内容 「所沢市観光大使」、イメージマスコット「トコロん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じ、観光客誘致のためのプロモーションを行うもの。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	7,500,000人	8,240,677人	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.63 人	会年職員等	0.40人										
						5,091千円												
						期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①11回	7,800,000人	7,765,568人	概ね達成済					
			H3 ～	0.68 人			会年職員等	0人	②15回									
							5,550千円			③4回								
541	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	人材確保に対する支援策の要望はあるものの、紹介事業者数の増加につなげられていないが、R5年度に実施した「OPEN FACTORY TOKOROZAWA」への参加者が、訪問事業者へ就職し、中小企業の人材確保に寄与したため。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤を作ろう
			重要	自治事務		301千円	180千円		①市ホームページ等で紹介した事業者数(累計) ②OPEN FACTORYへの参加企業数	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	市内中小企業の優れた技術・サービスをPRすることにより、市内事業者の人材確保に資することを目的とする。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市産業振興ビジョン	266千円		234千円												
			産業人材確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容 市内事業者の活性化を図るため、学生や大学等に対して、市内の中小企業の優れた技術・サービスをPRするなど、市内事業者の若年人材確保について支援を行うものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	25者	18者	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.65 人	会年職員等	0人										
						5,253千円												
						期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①18者	30者	18者	市ホームページでの事業者紹介については、HPをはじめ、広報やDM発送で周知するとともに、企業訪問時にも制度の活用を案内するなどの活動を行ったが、申請数が伸び悩んだため、目標を達成できなかった。					
			H31 ～	0.50 人			会年職員等	0人	②6社									
							4,081千円											
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	オンライン化の推進で、面接会を利用しなくても就職が決まりやすくなっているが、求職者と求人側担当者が直接対面できる面接会の必要性を実感している。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			重要	自治事務		20千円	20千円		①就職面接会の実施回数 ②就職面接会への参加者数 ③就職面接会への若年者の参加者数	就職面接会への若年者の参加者数	所沢市就労チャレンジ支援事業運営協議会の協議により決定する。 構成員 ・所沢市長 ・連合埼玉西部第四地域協議会 事務局長 ・所沢地区雇用対策協議会 会長 ・所沢公共職業安定所 所長 ・所沢市産業経済部長・福祉部長							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市産業振興ビジョン	20千円		20千円												
			就労チャレンジ支援事業	事業の目的及び具体的な内容 厚生労働省埼玉労働局と若年者を対象とした就労の援助や支援として、就職面接会を実施している。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	80人	115人	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.22 人	会年職員等	0人										
						1,778千円												
						期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①3回	80人	78人	企業の求人内容と求職者の希望職種が合致せず、参加する求職者数が伸び悩んだため。					
			H23 ～	0.24 人			会年職員等	0人	②295人									
							1,959千円			③78人								

90/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠					A
			重要	自治事務		173千円	47千円		①技能功労者褒彰者数 ②障害者雇用褒彰事業所数	被表彰者数及び被表彰事業所数		技能功労者表彰者数及び障害者雇用優良事業所表彰団体の合計を目標値とした。		R6目標値が未達成の理由・分析			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市技能功労者表彰選考委員会設置要綱、所沢市障害者雇用優良事業所表彰要綱	164千円		80千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			技能者の勤労意欲及び資質の向上を図り、技能尊重の機運を高めるとともに、市内事業所における障害者雇用の促進を図ることを目的とし、技能功労者及び障害者雇用優良事業所を表彰するもの。	0.20 人		会 年 職 員 等	0人	実績	6件	4件	目標達成済						
								1,616千円	R6目標	R6実績							
								R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	6件		6件					
								0.18 人	②1事業所								
								会 年 職 員 等				0人					
1,469千円																	
期間	0.18 人	会 年 職 員 等	0人														
S54 ～	1,469千円																
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	障害者の雇用の場の確保のために必要な事業であるが、成果が出るまでに時間がかかる事業である。また、法定雇用率を超えた場合を主に対象としているが、こうした事業所は少ないのが現状であり、障害者を雇用するための業務のマッチングが課題となっている。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			重要	自治事務		550千円	0千円		①補助制度利用事業所数 ②補助制度利用件数	補助制度を利用し雇用した障害者数		障害者の雇用の場の確保を目的としているため、補助制度を利用し雇用した障害者数を目標値とした。				R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市障害者雇用推進企業支援補助金交付要綱	550千円		100千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			障害者の雇用の場の確保と事業者の社会的責任の向上を促し、共生社会の実現に資することを目的に、市内事業者が、障害者を雇用する場合等に要する経費に対し、補助金（事業補助金・雇用助成金・職場実習奨励金）を交付するもの。	0.09 人		会 年 職 員 等	0人	実績	3人	0人	主に法定雇用率を超えて障害者を雇用する場合を対象としているが、こうした事業所は少ないのが現状である。障害者を雇用するための業務のマッチングが課題となっている。						
								727千円	R6目標	R6実績							
								R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	3人		1人					
								0.09 人	②1件								
								会 年 職 員 等				0人					
735千円																	
期間	0.09 人	会 年 職 員 等	0人														
H25 ～	735千円																
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標は達成できなかったが、受講者の多くが検定試験に合格し資格を取得していることから一定の成果が挙げられていると考えられる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			重要	自治事務		960千円	960千円		①講座開催回数 ②講座受講人数	受講率		受講人数／定員（100名）×100 可能な限り多くの方が受講できるよう、受講率を目標値とした。				R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	960千円		960千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			就業希望者の就職支援及び中小企業勤労者等のキャリアアップを目的とした日商PC検定対策講座を開催する。 なお、ハローワークにおいて一定期間内に求職活動をしている失業者については、求職活動証明書の提出により、受講料6,000円を3,000円に一部減免する取扱いを行う。	0.15 人		会 年 職 員 等	0.05人	実績	95.0%	64.0%	市ホームページ、広報、ほっとメール等で周知をしているが、周知が行き届いていない。						
								1,212千円	R6目標	R6実績							
								R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	95.0%		61.0%					
								0.13 人	②61人（定員100名）								
								会 年 職 員 等				0.05人					
1,061千円																	
期間	0.13 人	会 年 職 員 等	0.05人														
H12 ～	1,061千円																
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	市内中小企業の勤労者とその事業主の福祉の向上のため、当センターの必要性は高いが、会員事業所からの会費のみで運営することは困難なため、今後も継続した支援が必要である。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		10,004千円	10,000千円		①会員数 ②会員事業所数 ③利用者一人あたり利用額	会員数		事業のスケールメリットを活かすために、会員数の増加を目指す。				R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター事業補助金交付要綱	10,003千円		10,000千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合											
			市内中小企業勤労者等の福利厚生充実と発展を目的に、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して補助金の交付を行う。 （センターにおける実施事業） ○調査研究事業 ○研究会・講習会等の開催事業 ○情報提供事業 ○福利厚生事業 ほか	0.12 人		会 年 職 員 等	0人	実績	1,100人	943人	事業主の高齢化による廃業などにより、脱退する事業所が増えていること、また、業績が悪化している事業者による退会が増えているため。						
								970千円	R6目標	R6実績							
								R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	1,050人		966人					
								0.12 人	③16,867円								
								会 年 職 員 等				0人					
979千円																	
期間	0.12 人	会 年 職 員 等	0人														
H10 ～	979千円																

91/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		SDGsへの貢献 (最大3つ)	
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
			重要	自治事務		6,900千円	5,550千円	①補助対象者数 ②補助対象事業所数	新規加入事業所数	加入は事業所単位で行われることから、新規に加入した事業主の数を目標値とした。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市中小企業退職金共済掛金等補助金交付要綱	6,304千円		5,186千円											
			勤労者福祉充実事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
				中小企業に勤務する常用労働者及びパートタイム労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図ることを目的に、市内事業所が退職金共済制度に新規加入した場合に、3年間を限度とし、1年間に支払った共済掛金（従業員1人当たりの月額掛金が1万円を超える場合は1万円を限度とする）の20%以内で補助金を交付する。		0.17 人	会 年 職 員 等	0.1人									
						1,374千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①468人			16事業所	30事業所
			期間	H1 ～		0.17 人	会 年 職 員 等	0.1人	②92事業所		目標達成済						
			1,388千円			16事業所						27事業所					
													評価者	どのように貢献したか	中小企業に勤務する常用労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図った。		
													産業振興課長 石川 純也				
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		51,208千円	51,118千円	①年間利用件数 ②トレーニングルーム利用者数	年間利用率(各部屋平均)	年間利用件数／総利用区分数（9施設×6区分×開館日数）							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			ラーク所沢条例、ラーク所沢条例施行規則	37,969千円		37,900千円											
			ラーク所沢運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
				勤労者等の文化、教養及び福祉の増進を目的として設置され、現在は指定管理者が運営している。施設内の会議室等の貸し出しを行うとともに、各種自主事業を実施している。		0.38 人	会 年 職 員 等	0人									
						3,071千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①9,419件			50.0%	49.7%
			期間	S63 ～		0.34 人	会 年 職 員 等	0人	②9,494人	50.0%	50.3%	目標達成済					
			2,775千円														
													評価者	どのように貢献したか	勤労者等の福祉の増進と雇用の安定をはじめ、市民のコミュニティ活動の推進に貢献した。		
													産業振興課長 石川 純也				
542	産業 経済 部	産業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	勤労者と使用者の双方が労働するうえでのルールについて、正しく理解することで、トラブルの未然防止になる。そうすることで、生産性の向上や社会の発展にもつながる。また、実際に発生したトラブルに対しては、専門家による一般労働相談を通じて問題解決へ導けるような体制を維持している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			重要	自治事務		393千円	229千円	①埼玉県労働セミナー受講者数(延べ人数) ②所沢市労働セミナー受講者数[中学生](延べ人数) ③一般労働相談者数	セミナー参加者のうち、勤労者及び使用者の受講者数（延べ人数）	受講者数のうち、勤労者及び使用者である受講者数を目標値とした。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	393千円		249千円											
			労働セミナー・労働相談等開催事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
				労働をめぐる様々なトラブルの解決等を目的として、労働セミナー、労働相談等を実施する。○労働セミナー・埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催・就職を希望する市内の中学生を対象とする労働法の基礎を学ぶためのセミナーを開催する。○労働相談 社会保険労務士を相談員として、労働に関する相談を行うことで、労働者及び事業主が抱える様々な悩みや疑問を解決する。		0.14 人	会 年 職 員 等	0.05人									
						1,131千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①115人 ②551人 ③32人			100人	326人
			期間	S57 ～		0.10 人	会 年 職 員 等	0.05人		100人	83人	セミナーの開催回数が3回から2回に減少したため目標が達成できなかった。					
			816千円														
													評価者	どのように貢献したか	動労者に必要な労働に関する基礎知識の習得をはじめ、労働安全衛生の維持・向上に貢献した。勤労者及び経営者が抱える労働に係る様々な悩みの解消に貢献した。		
													産業振興課長 石川 純也				
542	産業 経済 部	農業 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	窓口での周知、福祉事業者への農福連携に関する取り組みの受託依頼など広く情報提供を行った。また、県立所沢おおぞら特別支援学校の農業体験学習授業に協力するなど、農福連携に向けた取り組みを進めている。	R6年度に改善した点	2 飢餓をゼロに
			重要	自治事務		0千円	0千円	①農福連携情報提供回数 ②先進事例調査研究回数	農福連携に係る情報提供回数	農福連携の取組みを推進するには、農業・福祉の連携事例や支援事業等の認知度向上を図る必要があるため、情報の提供回数を目標とした。令和6年度は、認知度向上を図るため情報提供回数は前年実績と同様とし、今後の取組みを検討する。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市産業振興ビジョン	0千円		0千円											
			農福連携推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					
				農業分野と福祉分野の垣根を越えた「農福連携」の取組みを推進することにより、農業経営体には働き手を提供し、高齢者や障害者には生きがいや働く場を創出することで、農業分野での人手不足を解消しつつ障害者等の活躍を促していく。具体的には、先進事例の調査研究を進めるとともに、関係機関の協力を得ながら、取組みを周知し、農福連携を浸透させていく。また、連携を希望する事業者を対象に高齢者等の受入や農業参入に関する相談受付を行っている。		0.22 人	会 年 職 員 等	0人									
						1,778千円											
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						①3回 ②0回			3回	3回
			期間	H31 ～		0.15 人	会 年 職 員 等	0人		3回	3回	目標達成済					
			1,224千円														
													評価者	どのように貢献したか	農業の労働力不足の解消		
													農業振興課長 前田 亘一				

92/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
551		企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	常州青少年民族楽器代表団の演奏会をエミテラス所沢で開催し、多くの市民に海外都市の音楽に触れる機会を提供できた。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう	
			重要	自治事務		1,400千円	447千円	①姉妹都市との交流 ②市民の国際意識を高める事業	友好委員会事業に参加した市民の数 外国の文化や姉妹都市交流に対する市民の興味・理解を促進する必要があるため。		R5目標		R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	1,400千円		758千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			期間	外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っており、この流れを促進していくため、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。 ①姉妹都市（米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市）への一般市民訪問団の派遣②姉妹都市から来訪する訪問団との交流③姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援④外国人市民との交流		0.69 人	会 年 職 員 等	0人	実績	50人	85人	目標達成済						
						5,576千円			R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	50人	922人									
						0.60 人	会 年 職 員 等	0人										
			S55 ～	0千円														
551		企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	訪問団の受入を通して、姉妹都市と本市の市民が交流する機会を提供し、市民同士の相互理解を推進することができた。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう	
			重要	自治事務		2,670千円	524千円	①姉妹都市から行政視察団を受け入れた数 ②姉妹都市交流事業に参加した市民の数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合 相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。		R5目標		R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市自治基本条例、第6次所沢市総合計画前期基本計画	1,868千円		203千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			期間	様々な事業を通して姉妹都市を中心とした海外都市との関係を構築する。 ①姉妹都市からの訪問団の受入れ等を通して、先進的な取組について行政情報の交換を行う。 ②姉妹都市との間で周年に合わせて代表訪問団の派遣・受入れを相互に行うなど、信頼関係の促進に努める。		1.00 人	会 年 職 員 等	0人	実績	75.0%	100.0%	目標達成済						
						8,081千円			R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	75.0%	100.0%									
						0.85 人	会 年 職 員 等	0人										
			～	0千円														
551		企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	学生の受入は数年ぶりだったが、受入家庭の協力のもとトラブルなく無事受入れることができた。市内高校での文化体験では、弓道体験等を通して本市とディケイター市の学生が交流することができた。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう	
			重要	自治事務		1,062千円	961千円	①所沢市からの派遣員の人数（奇数年） ②所沢市における受入家庭の数（偶数年）	事業に参加したことにより国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合 相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。		R5目標		R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			所沢市海外都市学生交流実施要綱 所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱	839千円		851千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			期間	姉妹都市に派遣員（高校生等）を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していくことを目的としている。 米国ディケイター市との間で、派遣と受入れを毎年交互に行い、派遣員は一般家庭で2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。		0.42 人	会 年 職 員 等	0人	実績	80.0%	100.0%	目標達成済						
						3,394千円			R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	80.0%	100.0%									
						0.65 人	会 年 職 員 等	0人										
			H3 ～	0千円														
552		企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	各所属へ効果的な周知や積極的な協力を行うことで、外国人市民にとって必要と思われる情報の多言語化を推進していく。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう	
			重要	自治事務		21千円	42千円	①多言語化されている行政資料の数 ②他機関が作成した多言語資料の活用数	新しく対応言語が増えた行政資料の数（「やさしい日本語」への対応も含む） 外国人市民に母国語又はやさしい日本語で、分かりやすく情報発信をしていく必要があるため。		R5目標		R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）												
			第6次所沢市総合計画前期基本計画	36千円		0千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												
			期間	外国人市民に対し、市政情報を多言語（「やさしい日本語」を含む）で提供し、言葉や生活習慣などの違いから日常生活や災害時に感じる不便をなくすことを目的としている。 ①年1回程度、庁内で多言語化に関する調査を行い、実態に合った効果的な支援策を講じる。 ②外国人市民のニーズが高い情報を多言語化するため、関係課と連携し、多言語化の支援などを行う。 ③やさしい日本語の普及を行う。		0.33 人	会 年 職 員 等	0人	実績	10種類	18種類	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。						
						2,667千円			R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	10種類	8種類									
						0.38 人	会 年 職 員 等	0人										
			H31 ～	0千円														

93/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
553	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	例年の企画に加え、新しい企画や内容に取り組んだ結果、参加人数を大幅に増やすことが出来た。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう
			優先	自治事務		200千円	200千円	①外国人市民の参加人数 (アンケートから算出)	参加者数	外国人市民が増加しており、外国人市民との共生意識を育んでいくには、より多くの方に本事業に携わってもらうことが重要であるため。		ステージ発表や別室での文化紹介に加え、外国人市民の母国文化紹介や市内高校生による交流広場など、別室での企画の種類や数を増やした。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			第6次所沢市総合計画前期基本計画			200千円	200千円						②初めて参加した人数				
			国際交流フォーラム開催支援事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
				外国人市民との共生意識の醸成を目的とする。市内の国際交流ボランティア（団体・個人）が実行委員会を組織し、年1回実施している。フォーラムでは①姉妹都市の紹介②日本人、外国人市民がグループになって話す交流会③舞台での発表（和太鼓・歌・ダンス等）④常設コーナー（姉妹都市と本市の子どもが描いた絵の展示等）を実施し、市民（外国人市民を含む）間のコミュニケーションの機会、知人作りや国際理解の場を提供している。		0.77 人	会 年 職 員 等	0人		600人	645人						
						6,222千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							
						0.69 人			0人	610人	708人	目標達成済					
			期間	0千円		①33人 ②105人											
			H7 ～														
553	経営 企画 部	企画 総務 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	多文化共生に取り組む所属数を増やすため、研修や広報を行うことで、職員へ多文化共生への意識啓発を行っていく。	R6年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう
			重要	自治事務		96千円	21千円	①研修及び講座参加者の多文化共生への理解度 ②多文化共生に取り組んでいる所属数	多文化共生に取り組んでいる所属数	市全体で多文化共生に取り組むには、各所属で多文化共生を理解して取組みを進めていく必要があるため。		研修の実施や広報周知に加え、通訳翻訳ボランティア制度など新しいツールの紹介を行い、活用を促した。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			第6次所沢市総合計画前期基本計画			60千円	10千円						R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			多文化共生推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
				日本人市民と外国人市民が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としての共生意識を育むことを目的とする。 ①多文化共生に関する研修や講座を実施する。 ②NGOやボランティアと連携し、外国人市民への支援を行う。		0.55 人	会 年 職 員 等	0人		50所属	49所属						
						4,445千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							
						0.55 人			0人	50所属	39所属	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。					
			期間	0千円		①100% ②39所属											
			H31 ～														
561	市民 部	文化 芸術 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	目標に対して126%の成果が出たため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			優先	自治事務		1,165千円	1,163千円	①まちなかコンサートの開催 ②音まちファミリーコンサートの開催	【R5目標まで】 「音まち」推奨制度推奨数 【R6目標から】 「音楽のあるまちづくり」SNSのフォロワー数	【R5目標まで】 市内の音楽コンテンツを推奨することで、本市を市内外にアピールしてイメージアップを図るため。 【R6目標から】 文化芸術に関する施策の満足度に相関性のある数値であると判断したため。		民間事業者との共同開催等によりイベント規模を拡大させたり、SNSでの情報発信を充実させたりした。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化芸術基本法			1,580千円	1,108千円									R5目標	R5実績
			音楽のあるまちづくり推進事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
				あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。 ①コンサートの開催：市民の気軽な音楽鑑賞の場を創出するため、市内各所で実施する。 ②音まちピアノ：グランエミオ所沢に設置のピアノの管理・運営。 ③「音まち」推奨制度：市内の音楽行事等を認定し、集客や情報入手の一助を図る。		1.12 人	会 年 職 員 等	0.1人		40件	38件						
						9,051千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							
						1.42 人			0.03人	1,980件	2,514件	目標達成済					
			期間	11,590千円		①5回 ②3回											
			H24 ～														
561	市民 部	文化 芸術 振興 課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	大ホールや中ホール等の稼働率の低下により、施設全体の稼働率の目標値を下回ったが、充実した事業を実施し、自主事業における来場者数や入場料収入やメンバーズ会員数が過去最高となる等の実績が上げられたため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		737,536千円	736,450千円	①年間施設利用日数（日） ②年間施設利用回数（回） ③自主事業イベント観客入場率（％）	施設稼働率（％） ※年間利用回数÷年間利用可能回数（閉館日を除く）	所沢市民文化センターは、本市における文化芸術活動の拠点であり、市民が芸術に触れる機会の増進を図り、施設利用者の増加を促進するために施設稼働率を指標とする。令和7年度は前年度実績値以上を目指すものとする。		通路等の照明のLED化や、今後の改修を見据えた中ホール外壁のドローン調査等、安全な施設利用に寄与する修繕や調査を行った。					
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢市民文化センター条例、所沢市民文化センター条例施行規則			727,118千円	727,110千円									R5目標	R5実績
			市民文化センター管理運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか	
				本市の文化芸術振興のため、所沢市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。 また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市文化振興事業団が実施している。 なお、平成30年12月から令和2年3月までは大規模改修を、令和2年4月から令和12年3月までは維持管理を、共にPFI事業者が実施している。		0.93 人	会 年 職 員 等	0人		60.0%	55.6%						
						7,515千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							
						1.15 人			0人	57.0%	52.6%	令和5年度はミュージズ開館30周年の記念事業の実施という特殊な状況により、コロナ禍以降では高い稼働率であったが、令和6年度の目標値をその実績を元に設定したことが、目標未達成の一因と考えられる。					
			期間	9,386千円		①3,239 ②7,285 ③84.3%											
			H5 ～														

94/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)	成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
561	市民 部	文化 芸術 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠					B
			重要	自治事務		13,176千円	12,958千円	①年間施設利用日数（日） ②利用件数（団体・個人）	施設稼働率（％） ※年間利用回数÷年間利用可能回数（閉館日を除く）	市民の文化芸術活動の発表の場「ギャラリー」として、市民へ利用に供し文化芸術活動等の促進を図るため、施設稼働率を指標とする。なお、R5年度以降、新型コロナウイルスによる新型コロナウイルス感染症に係る利用制約が撤廃されたことを鑑みて目標値を設定している。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			所沢駅東口市民ギャラリー管理運営事業	15,649千円		14,990千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			所沢駅東口市民ギャラリーは、市民の文化芸術活動等の促進を図ることを目的とした施設であり、ギャラリーとして一般利用に供することを目的としている。 また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市公共施設管理公社が実施している。	0.61 人		会年職員等	0人		R6目標	R6実績							
				4,929千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										
				期間		0.50 人	会年職員等	0人	①207	70.0%	67.2%	利用件数は1件減であるが、利用日数が35日減となった。利用者の高齢化に伴い展示会の開催日数を減らしている利用者が複数いるため、施設稼働率が低下してしまったものである。					
H29 ～	4,081千円		②35														
561	市民 部	文化 芸術 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	目標指数を上回ったため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		2,370千円	2,008千円	①アートベンチの設置 ②ワークショップの開催 ③成果展の実施	【R5目標】 ワークショップへの参加児童数 【R6目標】 成果展への来場者数	成果展への関心度は事業全体への関心度と直結すると判断したため。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化芸術基本法	1,130千円		1,076千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			三ヶ島アートなベンチ設置事業	0.59 人		会年職員等	0人		R6目標	R6実績							
				4,768千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										
				期間		0.70 人	会年職員等	0人	①糶谷八幡湿地に東弘一郎氏による「バイクベンチ」を設置 ②参加者数 33名（保護者含めると80程度） ③来場者数 約300名（推定）	200名	推定300名	目標達成済					
R5 ～	5,713千円																
561	市民 部	文化 芸術 振興課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	目標を超える満足度を得ることができたため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			最優先	自治事務		-	-	①作品募集 ②展覧会実施	展覧会アンケートの満足度	展覧会に対する満足度は事業への満足度と直結すると判断したため。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化芸術基本法	273千円		192千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			「所沢駅アート展」開催事業	-		会年職員等	-		R6目標	R6実績							
				-		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										
				期間		0.67 人	会年職員等	0.02人	①応募点数 19点 ②アンケート結果 満足度100%（アンケート23件中、大変良かった、良かったと回答した人の割合）	90.0%	100.0%	目標達成済					
R6 ～	5,469千円																
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	依頼件数全件の調査が実施できており、目標を達成している。特に夏場は熱中症対策を講じながらの調査となるが、今後も調査に従事する職員の健康管理に注意しながら着実に調査を進めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		34,952千円	32,638千円	①確認調査実施件数 ②発掘調査実施件数 ③発掘調査実施面積	確認調査依頼件数に対する確認調査実施件数	開発等により破壊される前に確認調査によって遺構の有無を判断し、本調査で迅速かつ正確に遺跡に関する記録を行うことが当事業の目的となっているため、確認調査の実施率を指標とし達成率100%を目標値とした。							
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	40,855千円		36,682千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			埋蔵文化財発掘調査事業	1.03 人		会年職員等	7.53人		R6目標	R6実績							
				8,323千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										
				期間		0.81 人	会年職員等	10.80人	①79件 ②5件 ③530㎡	100.0%	100.0%	目標達成済					
S51 ～	6,611千円																

95/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標			評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	当初の計画通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成できている。しかし、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるように取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		11,846千円	10,125千円		①年報掲載の確認・発掘調査数 ②報告書を刊行した発掘調査件数	発掘調査報告書刊行調査次数	記録した遺跡の情報を報告書として刊行し公開することが当事業の目的となっているため、報告書を刊行した発掘調査次数を指標とし、報告書刊行済の調査報告次数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査次数を加えたものを目標値とした。		R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	12,778千円		11,862千円											
			発掘調査報告書等刊行事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	387件	389件	R6目標	R6実績			目標達成済	
			報告書の刊行により発掘調査の成果を公開することで、市民をはじめ歴史及び郷土研究への貢献を目的に実施する。また、年報の刊行により発掘調査や確認調査の成果をいち早く公開することで、市民や開発事業者等に所沢市の地中に刻まれた貴重な文化遺産を周知し、文化財保護意識を啓発することで、開発計画など遺跡の破壊を未然に防止する効果も期待できる。	0.36 人		会年職員等	7.5人										
				2,909千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										①102件
				期間		事業の目的及び具体的な内容	0.51 人	会年職員等	8人	②9件			目標達成済				
			S52 ～	4,163千円													
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	実績値は目標を下回っているが、「埋文まつり」アンケートでは、参加者の86%が「昔の人々の暮らしの跡や、使っていた土器や石器などについてもっと知りたいと思う」と回答しており、事業を通じて関心や理解が図られているためB評価とした。今後も地中に眠る埋蔵文化財の魅力を伝えるため、普及公開事業の情報発信を進め、子どもから高齢者まで多くの市民が埋蔵文化財に親しむ機会の創出に努めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		2,034千円	1,654千円		①来館者人数 ②埋文まつり参加者数 ③出張事業及び講師派遣の講座参加者数	文化財公開活用事業への参加者数	郷土の歴史や埋蔵文化財行政を周知することが当事業の目的であるため、市民の関心や理解度を図る数値として公開活用活動参加者数を指標とする。		R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化財保護法・所沢市文化財保護条例	2,123千円		1,966千円											
			埋蔵文化財普及公開事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	8,600人	4,396人	R6目標	R6実績			夏休みに2日間開催している「埋文まつり」について、昨今の猛暑から秋の「埼玉県民の日」1日開催に変更したことなどから令和5年度よりも減少してしまった。今後も魅力的な普及公開活動を続け、目標値に近づけるよう努力する。	
			埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに郷土の歴史や文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①小中学校を対象とした来館授業・体験学習・出張授業等 ②施設見学 ③埋文まつりの開催 ④外部公共施設等への資料貸出・展示 ⑤講師派遣 ⑥最新発掘展示	0.39 人		会年職員等	1.8人										
				3,152千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										①3,819人
				期間		事業の目的及び具体的な内容	0.51 人	会年職員等	2.52人	②338人			目標達成済				
			H6 ～	4,163千円													
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	当初の計画通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかし、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるように、その下地となる遺物の整理を進めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		13,047千円	11,464千円		①整理作業遺跡件数 ②整理作業遺構件数 ③出土遺物の保存処理・化学分析	発掘調査報告書刊行調査次数	発掘調査の成果を報告書として刊行するために遺物の整理を行うことが当事業の目的であるため、報告書を刊行した発掘調査次数を指標とし、報告書刊行済の調査報告次数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査次数を加えたものを目標値とした。		R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	15,979千円		15,151千円											
			埋蔵文化財遺物整理保存事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	387件	389件	R6目標	R6実績			目標達成済	
			遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくことを目的に実施する。主な内容は、①遺物の水洗 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析 など	0.21 人		会年職員等	3.4人										
				1,697千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										①9件
				期間		事業の目的及び具体的な内容	0.11 人	会年職員等	5人	②92件			目標達成済				
			S50 ～	898千円													
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	コロナ禍から停滞していた現地見学者数（団体）が回復しており、目標値を達成している。整備に伴う発掘調査は終了したことから、今後は現地を訪れた方が史跡により親しむことができるよう史跡整備に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			重要	自治事務		3,955千円	972千円		①滝の城跡HPアクセス件数 ②発掘調査報告書の延べ販売部数	保存会会員数+現地見学者数（団体のみ）	「滝の城跡」を後世に護り伝えていくために、保存活動をしている団体の会員数、及び現地見学者（団体）数、また滝の城跡関連の普及事業参加者数を指標とした。		R5目標			R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）											
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	3,130千円		2,327千円											
			滝の城跡整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	145人	81人	R6目標	R6実績			目標達成済	
			中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えることを目的に実施する。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	0.52 人		会年職員等	7.2人										
				4,202千円		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合										①20,055件
				期間		事業の目的及び具体的な内容	0.68 人	会年職員等	1人	②2冊			目標達成済				
			H19 ～	5,550千円													

96/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)				
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標			総合 評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	目標達成率は65.02%とやや低いが、令和5年度実績よりも増加しており、また、公開事業の目的達成度も80%と高い達成度のためB評価とした。今後多くの市民に文化財への興味関心を抱いていただけるよう、事業規模や事業手法を検討して取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		5,654千円	5,359千円		①所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数 ②所沢市web文化財保護課所管コンテンツ月別最多掲載数 ③公開事業の達成度（アンケートの所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたいと「とても思った」「思った」と回答した割合）		文化財に関する市民理解度（文化財保護課所管施設の見学及び主催事業への参加者数）		文化財を身近に感じ、後世へ護り伝えていく意識を持つ市民等を増やすことを目的にしているため、市民等の理解度を指標とする。			埼玉県や市のInstagram・フェイスブックを活用した情報発信に努めた。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）		8,299千円		8,131千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		0.89 人		0.25人		実績								
				文化財の公開や文化財を活用した事業を実施することで、市民等に「ふるさと所沢」への愛着や、文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①指定文化財等の情報公開 ②指定文化財等の管理 ③展示や講座などの指定文化財等の公開活用事業の開催		7,192千円			R6目標		R6実績										
			期間			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①572,385件 ②294件 ③80%				未達成であるが、令和5年度よりも実績値は増加しており、公開事業の満足度も良好な数値を得ている。引き続き魅力的な公開事業の実施とその広報に努めていく。			移動が困難な文化財は現地での公開を行うなど、所有者にも協力を要請し、市民に文化財の魅力を伝える機会を増やす。	文化財の公開活用により所沢市の文化財を市民等に魅力的に伝えた。				
						0.31 人	0.35人														
						2,530千円															
			H18	～														評価者			どのように貢献したか
																		文化財保護担当参事 稲田里織			
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	人工増殖の順調に進まず、目標値を達成できなかった。今後は、飼育総個体数が3000尾を下回ることがないよう、計画的な個体数の維持に努めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		3,352千円	3,043千円		①個体数（年度末時点） ②年間死亡個体数		埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖により増加した個体数		ミヤコタナゴの種の保存のため、飼育総数個体3,000～3,500を目標としていることから、当該年度の人工増殖数を指標とする。			飼育室内での作業方法の見直し、写真付きマニュアルを作成した。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	所沢市文化財保護条例、絶滅のおそれのある希少野生動植物の種の保存に関する法律		R6予算現額	R6決算額（見込み）		4,727千円		4,589千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		0.63 人		4.85人		実績								
				絶滅危惧種で国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」の種の保存と、環境学習等としての活用を図ることを目的に実施する。主な内容は、①人工増殖による必要個体数の維持 ②市内小学校等での展示飼育（保護啓発と環境学習） ③中学校での飼育体験		5,091千円			R6目標		R6実績										
			期間			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①2,451尾 ②1,841尾		1,000尾		841尾			人工増殖において、採卵や稚魚の飼育に使用する水の調整がうまくいかないことがあり孵化・生存率が下がった。	埋蔵文化財調査センター施設内において人工増殖を行い、個体数維持に努めているが、自然繁殖に向けては環境など多くの課題があり、関係部署との連携を図ることが不可欠である。	小中学校での飼育展示で地域環境教育に貢献した。			
						0.52 人	3.1人				R7目標										
						4,244千円					1,250尾										
			H8	～														評価者			どのように貢献したか
																		文化財保護担当参事 稲田里織			
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	伝統芸能発表会の未開催年などの理由から目標は達成できなかったが、埼玉県主催「和文化フェスタ」の出演など、継承団体が活躍する機会の確保に努めており、引き続き支援をしていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		721千円	721千円		①伝統芸能発表会の鑑賞者数（出演者+来場者数） ②重松流祭囃子保存会の活動参加者数（重松流祭囃子各活動の出演者） ③岩崎獅子舞保存会の活動参加者数（奉納岩崎彫獅子舞の出演者+来場者数）		郷土の民俗芸能の披露日数		市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露日数を指標にしている。			一般財団法人地域創造からの助成を受けて継承団体の支援をした。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）		300千円		300千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		0.62 人		0.05人		実績								
				市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ護り伝えるとともに、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目的に実施する。主な内容は、①伝統芸能発表会の開催（隔年） ②郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援		5,010千円			R6目標		R6実績										
			期間			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①－（R6年度は発表会を開催しない年） ②962人（保存会行事の延出演者数） ③360人（出演者60人+来場者300人）		令和6年度は、伝統芸能発表会の開催がない年（隔年開催）であり、また、令和5年度よりも継承団体への出演依頼数が少なかったため、目標を達成できなかった。					引き続き、継承団体の活動支援に努めていく。	無形民俗文化財の紹介や継承団体への支援を行い、次世代への継承を図った。				
						0.21 人	0.02人														
						1,714千円															
			H5	～														評価者			どのように貢献したか
																		文化財保護担当参事 稲田里織			
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者等が負担する経費負担は大きい。所有者等と平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも市ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		2,273千円	1,564千円		①管理費等補助件数 ②修理等補助件数		所有者（管理者）の申請件数と交付件数の率		指定文化財は市民の個人管理も多く、経費の一部を市が支援することは、指定文化財を良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。			補助金手続きにおいて所有者支援に努めた。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱		R6予算現額	R6決算額（見込み）		2,273千円		1,375千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		0.26 人		0.1人		実績								
				市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有（管理）者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況等を確認する		2,101千円			R6目標		R6実績										
			期間			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①61件 ②1件		100.0%		100.0%			目標達成済	指定文化財はそれぞれ所有者が管理しており、文化財の種類によって所有者等の負担が増大している。市民共有の財産である文化財を継続的に管理するために、所有者等との連絡を密にするなど、費用以外の支援も積極的に担っていく必要がある。	指定文化財管理費を補助することで、指定文化財を良好な状態で維持、保全し後世へ伝えていく。			
						0.26 人	0.13人														
						2,122千円															
			S56	～														評価者			どのように貢献したか
																		文化財保護担当参事 稲田里織			

97/128

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果					総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献 (最大3つ)
						投入コスト			活動実績(R6)		成果指標				評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センターの開設から30年以上が経過しており、施設の老朽化による不具合が年々増加している。今後必要箇所を見極めた上で、計画的な修繕を進めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務		12,082千円	9,276千円	①施設利用者数（来館者人数） ②年間開館日数	年間の施設修繕件数	来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えていくために適正な施設管理を行うことが目的であるため、計画的な施設修繕が遂行できているか、修繕実施数を指標とした。								
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
						27,545千円	25,211千円											
			埋蔵文化財調査センター施設管理事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
						0.54 人	会年職員等		0.00人	6件	6件							
						4,364千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①3,819人 ②243日	R6目標	R6実績							
			0.56 人	会年職員等		0.00人				6件	8件							
期間	来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	0.56 人	会年職員等	0.00人	目標達成済													
H6 ～		4,571千円																
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	個人来館者数が前年度より増加し、目標値を達成している。引き続き、来館者数の増加に向けて、学校教育との連携を中心に情報発信に努めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務		4,956千円	3,580千円	①開館日数 ②来館小中学校数	来館者数	各地域に伝わる民俗資料を展示し見学してもらうことより、郷土への理解を深める機会を提供することになると考え、来館者数の増加を指標とする。								
			根拠法令	所沢市民俗資料館条例、所沢市民俗資料館条例施行規則		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
						4,726千円	4,546千円											
			中富・柳瀬・山口民俗資料館管理運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
						0.36 人	会年職員等		1.02人	1,500人	1,384人							
						2,909千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①145日 ②7校	R6目標	R6実績							
			0.33 人	会年職員等		1.12人				1,500人	1,614人							
期間	地域ごとの民俗資料の保存と市民への公開を目的に実施する。主な内容は、 ①中富・柳瀬・山口民俗資料館の開館業務 開館日：各館月4回 開館時間：午前9時～午後4時30分 入館料：無料 ②地域の特色が見られる民具等の展示 ③小中学校の社会科見学や総合学習の支援	0.33 人	会年職員等	1.12人	目標達成済													
S56 ～		2,693千円																
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成していないが、土地区画整理組合から依頼のあった調査には全て対応できているためA評価とする。引き続き、土地区画整理事業に影響を及ぼさないよう、調査の実施に努めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務		14,283千円	7,841千円	①確認調査実施件数 ②発掘調査実施件数(㎡) ③確認調査実施面積	確認調査(試掘)面積と記録保存のための発掘調査面積	各土地区画整理組合(組合が認可されていない箇所は土地区画整理組合設立準備会)と合意した確認調査(試掘)、及び記録保存のための発掘調査面積								
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
						15,574千円	6,760千円											
			土地区画整理事業 地内埋蔵文化財調査事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
						0.56 人	会年職員等		7.2人	26,000㎡	28,705㎡							
						4,525千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①12件 ②0件 ③25,661.48㎡	R6目標	R6実績							
			0.56 人	会年職員等		8.4人				26,000㎡	25,661.48㎡							
期間	市内5箇所の土地区画整理事業地内の埋蔵文化財を保護するために実施する。主な内容は、①公衆用道路等の確認調査（試掘）を行い遺構・遺物の有無を確認 ②確認調査（試掘）で検出された遺構の記録保存のための発掘調査の実施 ③発掘調査で出土した遺物・遺構の記録を整理して報告書を刊行	0.56 人	会年職員等	8.4人	各土地区画整理組合からの調査依頼が当初の計画よりも若干減少したため。													
H29 ～		4,571千円																
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値は達成していないが、特別公開参加者数は令和5年度に比べて約200人増えている。引き続き、整備活用に向けた課題に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			最優先	自治事務		26,168千円	24,380千円	①特別公開の参加数 ②アンケートの回答数 ③公開事業の達成度（アンケートの所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたいと「とても思った」回答数の割合）	公開事業の達成度（アンケートの「所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたい」と「とても思った」回答数の割合）	「秋田家住宅」の整備活用を通じて、「所沢のまちば」の歴史・文化を伝えることを目的としており、公開事業の来場者に「所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたい」と思ってもらえれば、事業目的を遂行できるため指標とした。								
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R6予算現額	R6決算額（見込み）											
						8,328千円	7,190千円											
			歴史的建造物整備活用事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析							
						0.95 人	会年職員等		0.00人	50.0%	61.7%							
						7,677千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①963人 ②406枚 ③97%	R6目標	R6実績							
			0.60 人	会年職員等		0.20人				55.0%	50.0%							
期間	寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図る目的で実施する。「秋田家住宅」を整備し活用することによって、「所沢のまちば」の歴史・文化を伝え、「ふるさと所沢」を愛する心を育てる。あわせて、様々な活動の展開を通じて日常的に市民が交流する空間の創出や、所沢駅周辺から西所沢エリアや航空公園エリアなどへの回遊拠点のひとつとして地域の商業や観光の活性化にも寄与することを目指す。	0.60 人	会年職員等	0.20人	展示の内容が固定化している箇所があったため、企画内容は機会があれば繰り返し直したい。また、令和6年7月の行灯廊火は悪天候のため夜間の関連イベントが中止となり、秋田家住宅内の出店も予定より早く撤収するなどの影響が出たことも一因と考えられる。													
R3 ～		4,897千円																

計画 コード	所属 名称 (部 局)	所属 名称 (所 属)	事務事業名称	事業概要（全体）	会計	経費			成果				総合 評価	評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど		SDGsへの貢献 （最大3つ）			
						投入コスト			活動実績（R6）		成果指標			評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
562	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	文化財保護課全コンテンツの平均年間アクセス数（目標値）の2倍を超えたアクセスがあり、目標値を達成している。引き続き、「航空発祥の地 所沢」の歴史を市民等に広く伝えるため、文化財の活用と広報に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			最優先	自治事務		-	-	文化財保護課が所管する「旭橋」HPの年間アクセス数	国登録有形文化財「旭橋」への関心・理解度（HPの年間アクセス数）		文化財を身近に感じ、後世へ護り伝えていく意識を持つ市民等を増やすことを目的にしているため、市民等の関心・理解度を指標とする。			R6目標値が未達成の理由・分析	「とことこまちづくり実行委員会」から寄付金を充当して事業を進めた。また、「所沢市文化財展」において、事業進捗の報告と復元電灯模型の展示を行った。	11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）													
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	12,740千円		12,430千円													
			国登録有形文化財「旭橋」電灯復元事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			「航空発祥の地 所沢」の歴史を多くの市民や本市を訪れた方にも体感してもらえるよう、東川と飛行機新道に架かる国登録有形文化財「旭橋」の電灯復元を行う。 「旭橋」は、昭和5年（1930年）に、旧所沢飛行場へ通じる飛行機新道にそれまでの土橋から架け替えられた鉄筋コンクリート造単桁橋で、親柱上にあった電灯は現在失われている。令和3年度から進めてきた資料調査の結果、施工当時の図面などが発見できたため、それらを資料として電灯の復元及び設置を行う。	-		会年職員等	-	-	R6目標							R6実績			
				R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	2,000件	4,423件											
				期間		0.30 人	会年職員等	0.00人								評価者			
			R6 ～ R7	2,449千円															
563	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	「三ヶ島葎子資料室」開設30周年記念事業として、市民とともに選ぶ「三ヶ島葎子令和の百首選」の発表や資料室の一部展示替えや記念講演会も行い、開室30周年の節目に「三ヶ島葎子」の魅力を多くの方に伝える事業を実施した。ことなどにより、目標を達成している。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		152千円	152千円	①資料室入場者数 ②講演会等来場者数 ③冊子等販売数	利用者数（資料室・講演会来場者数と冊子等購入者延べ人数）		市民へ三ヶ島葎子を周知することを目的としているため、利用者数（資料室・講演会等来場者数と冊子等購入者延べ人数）を指標とした。			R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）													
			社会教育法、文化芸術振興基本法	267千円		207千円													
			三ヶ島葎子資料室運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			郷土出身の歌人「三ヶ島葎子」の短歌の世界を広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、「ふるさと所沢」を愛する心を育てることを目的とし、①講演会等の開催 ②三ヶ島葎子資料室だより「われもこう」の発行 ③市民ボランティアによる展示解説会等を実施する。	0.53 人		会年職員等	0.1人	実績	600人							766人	R6目標	R6実績	
				4,283千円		R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①655人							780人	859人		
				期間		0.75 人	会年職員等	0.05人								評価者			
			H6 ～	6,122千円															
563	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	B	普及公開事業を減らしたことにより、目標値を達成できなかったが、実施事業の来場者アンケートでは「ふるさと所沢」について「学びたい・知りたい」と回答した割合は高く、郷土を学ぶきっかけづくりができた。また、市民芸芸員（ボランティア）の事業協力数も増えており、市民とともに「ふるさと研究活動」を実施できた。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		13,573千円	13,235千円	①事業目的の達成度（アンケート「ふるさと所沢」について「学びたい・知りたい」と回答した割合） ②ふるさと研究利用者数 ③事業に協力した市民学芸員の延べ人数	展示見学者・講座参加者・閲覧学習室利用者の延べ人数		ふるさと研究活動の周知と市民参加が目的の一つであるため、ふるさと研究利用者数（事業参加数と資料利用数）を指標とした。			R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）													
			社会教育法、博物館法、文化財保護法	14,124千円		12,293千円													
			ふるさと研究活動事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			所沢市の歴史や自然などの本市に関する様々な分野の資料の収集・保存・調査・研究を進め、常設展示や企画展示・講座・体験学習会などを通じて研究成果を紹介し、郷土への愛着を深めるための事業を展開する。	1.53 人		会年職員等	2.9人	実績	6,150人							5,344人	R6目標	R6実績	
				12,364千円		R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①68%							6,200人	4,837人		
				期間		0.96 人	会年職員等	2.15人								評価者			
			H7 ～	7,836千円															
563	教育 総務 部	文化 財保 護課	実施計画ランク	事業の種別	一般 会 計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠	A	令和2年度に「所沢市郷土資料等収蔵施設整備に係る庁内検討調整会議」を設置し、整備の方向性や取り組むべき課題についてこれまで検討を重ねてきたが、令和6年度第2回会議において、庁内検討調整会議としての方向性をまとめることができた。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			優先	自治事務		-	-	①庁内検討調整会議の開催回数 ②特別講演会参加者数 ③郷土資料管理システムへの移行データ数	庁内検討調整会議の開催回数		収蔵施設の整備を進めるためには、市の事業全体を考慮した総合的な判断と調整が必要となるため、関係課長級職員による庁内検討調整会議の開催回数を指標とした。			R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額（見込み）													
			文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	2,038千円		1,761千円													
			郷土資料等収蔵施設整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			所沢市が所蔵する郷土資料等を良好な環境で保存し活用することを目的に所蔵施設の整備を進める。主な内容は、①庁内検討調整会議の開催、②資料管理のデジタル化、③所蔵資料の再整理など	-		会年職員等	-	実績	-							-	R6目標	R6実績	
				-		R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①2回							2回	2回		
				期間		0.55 人	会年職員等	0.71人								評価者			
			R6 ～	4,489千円															